

# 短期大学学生に関する調査研究

-2014年調査 全体集計結果報告-

2015年8月

一般財団法人 短期大学基準協会

調査研究委員会



## 目次

巻頭言	
まえがき	1
第1部 図と文章で示す集計結果	2
[1] 性別	2
[2] 年齢	2
[3] 学年	3
[4] 通学時間	3
[5] 志望順位	4
[6] 内部進学者	4
[7] 入試区分	5
[8] 進学選択時の重要度	5
[9] 進学アスピレーション	6
[10] 授業における経験	7
[11] 1週間の活動時間	8
[12] 教員との関わり合い	8
[13] 読書経験（量）	9
[14] 課外活動の経験	9
[15] 成績状況	10
[16] 満足度（施設・サービス）	11
[17] 満足度（教育）	12
[18] 知識・能力の変化	13
[19] 将来のキャリア志望	14
[20] 学内の経済的援助の有無	14
[21] 学費等の経済的負担割合	15
[22] 学生生活の充実度	15
[23] 他者に対する短大推奨度	15
[24-1] 短大の総合評価（他の学生）	16
[24-2] 短大の総合評価（短大の先生）	16
[24-3] 短大の総合評価（短大の職員）	17
[24-4] 短大の総合評価（短大やキャンパス）	17
[24-5] 短大の総合評価（短大での学び）	18

第2部 集計一覧 .....	19
[1] 性別.....	19
[2] 年齢.....	19
[3] 学年.....	19
[4] 通学時間.....	20
[5] 志望順位.....	20
[6] 内部進学者.....	20
[7] 入試区分.....	20
[8] 進学選択時の重要度 .....	21
[9] 進学アスピレーション.....	21
[10] 授業における経験.....	22
[11] 1週間の活動時間.....	22
[12] 教員との関わり合い .....	23
[13] 読書経験（量） .....	23
[14] 課外活動の経験.....	23
[15] 成績状況 .....	23
[16] 満足度（施設・サービス） .....	24
[17] 満足度（教育） .....	25
[18] 知識・能力の変化.....	26
[19] 将来のキャリア志望 .....	27
[20] 学内の経済的援助の有無.....	28
[21] 学費等の経済的負担割合 .....	28
[22] 学生生活の充実度.....	28
[23] 他者に対する短大推奨度 .....	29
[24-1] 短大の総合評価（他の学生） .....	29
[24-2] 短大の総合評価（短大の先生） .....	29
[24-3] 短大の総合評価（短大の職員） .....	30
[24-4] 短大の総合評価（短大やキャンパス） .....	30
[24-5] 短大の総合評価（短大での学び） .....	30
第3部 参加校の意見 .....	31
短大生調査 2014（ <i>Tandaiseichosa2014</i> ）参加校.....	41
調査研究委員会 委員名簿 .....	42

## 巻頭言

本冊子は、2014年度に短期大学基準協会調査研究委員会が、「短期大学における主体的改革・改善に資する自己評価方法に関する調査研究」の課題のもと、「短期大学における学習効果測定法の開発」として実施した「短大生調査 2014」(Tandiseichosa2014)の、全体集計結果であり、本調査の最終報告に当たるものです。

本調査研究は、過去6回に渡り、山田礼子同志社大学教授をリーダーとする「大学生調査研究プログラム」(JCIRP)の研究開発と協力して実施してまいりましたが、今回から、山田教授と研究協力者による研究開発で大幅に改良し、協会独自のものとして行いました。

2014年9月2日に本調査の概要を説明した文書を全会員校に送付し、参加を募った結果、これまで最多の44校の参加を得ることができました。参加短大に対しては、10月29日に調査票を発送し、12月上旬に同票の回収、その後、データ入力作業等の整理を行い、平成2015年2月に短期大学ごとの集計結果を参加短期大学にご提供いたしました。さらに、得られたデータ全体を用いての分析が委員会において進められ、4月には全体集計結果を中間報告として参加短期大学にご提供いたしました。そして、その後、参加各校からアンケートにより本調査研究に関するご意見を伺い、その結果を加えて最終報告書としたのが本冊子です。

この調査では、吟味された項目によって精度の高い自己評価資料が得られることから、参加短期大学にとって、自己点検・評価の資料となって認証評価への対応に役立つだけでなく、自校の強みや弱みを把握してのマーケティングやエンロールマネジメントへの利用などのメリットがあると考えられます。また、全体のデータは、学術研究に活用され、学位教育としての内実やコミュニカレッジ的特質などの短期大学の研究と情報発信への貢献が期待されます。

今年度の調査研究委員会では、この調査の事業化に関する検討も課題とされております。本調査研究にご協力いただきました関係各位に感謝するとともに、本報告書が様々な形で活用され、本調査が発展して日本の高等教育の展開に資するようになることを願ってやみません。

2015年8月

調査研究委員会委員長  
館 昭



## まえがき

山田礼子（調査研究委員会委員／短大生調査担当）

短期大学基準協会調査研究委員会は、過去 6 回実施してきた日本版短期大学生調査を 2014 年度から新たに改訂し、短大生調査としてリスタートした。過去 6 回の調査も含めた短期大学生を対象とする調査も定着してきたのではないかと考えている。

本最終報告書は、2014 年の調査結果に関する中間報告書の公表後に、参加各校からアンケートにより本調査に関するご意見を伺い、その結果を加えたものである。2010 年からは、中間報告時点で参加短期大学からの調査や調査結果に対するアンケートによるフィードバックをいただき、その結果を最終報告書に反映するような工夫を行った。今年度も同様に、中間報告書では、グラフや表による単純集計の表示と解説を中心に構成し、最終報告書には、参加校からのアンケートによるフィードバックも掲載している。

調査は 2014 年の 9 月上旬から 10 月上旬の約 1 ヶ月間に会員校全てを対象に参加を募り、11 月上旬から 12 月上旬の約 1 ヶ月間の期間で調査が実施された。2014 年調査の参加短期大学数は 44 校、参加人数は 12,093 名であった。今年度は過去最多の短期大学と短期大学生が参加していただいたことから、本プロジェクトが間接評価として定着し、かつフィードバックへの期待が高まっていると考え、関係者一同その期待に応えていきたいと改めてその責任を認識した次第である。

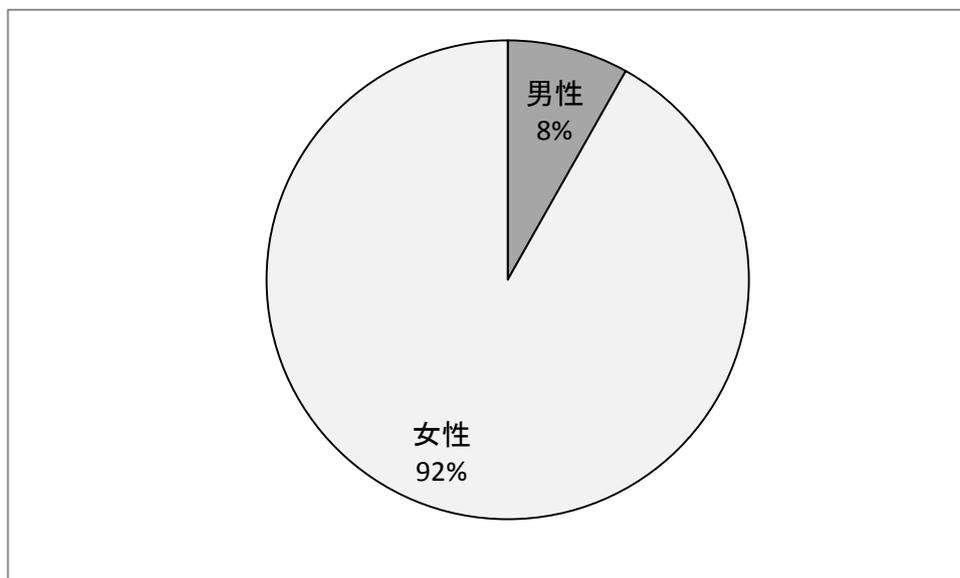
調査の募集およびデータの整理、集計、分析は短期大学基準協会とそのなかに設けられた短期大学基準協会調査研究委員会が実施しているが、調査対象学年の選定については、全数調査ではなく、調査に参加する短期大学にお任せしている。

従来の日本版短期大学生調査は、アメリカの学生調査をベースにしていたこともあり、日本の短期大学の実情にそぐわない質問内容があったり、多岐にわたる質問内容によって回答数が多くなってしまったりと、回答するのにかなりの時間と労力を必要としていた。これまで参加した短大からのコメントをはじめ、訪問調査や試行調査などを踏まえて、質問内容を吟味し質問項目の整理や用語の簡素化を行うことで質問数を 235 個から 107 個まで厳選した結果、回答する学生の負担を軽減しつつもより短大の実情を把握しやすい調査とすることができた。本調査では、入試方法や入学してきた目的をはじめ、入学後に行った学習行動やその他の活動、回答時点の学習(学修)成果や短大に対する満足度や印象について尋ねている。調査結果から得られた学生の傾向から、より学生が授業に活発に参加できるように授業の形態を考えていく資料にもなる。

今回の短大生調査 2014 に参加された短期大学あるいは今後短大生調査への参加を企図している短期大学は、是非調査の分析結果、あるいはデータを利用いただき、より良い短期大学の教育プログラム、学生支援プログラム、そして教員の教育方法の改善など FD にもつなげていただきたいと開発者一同願っている。開発して間もないことから、まだまだ不十分な点が少ないが、より多くの短期大学の参加と継続して調査をすることを通じて、精緻な分析と短期大学の実態に基づいた調査を開発し、多くの短期大学が利用できるような標準化した調査にしていきたい。

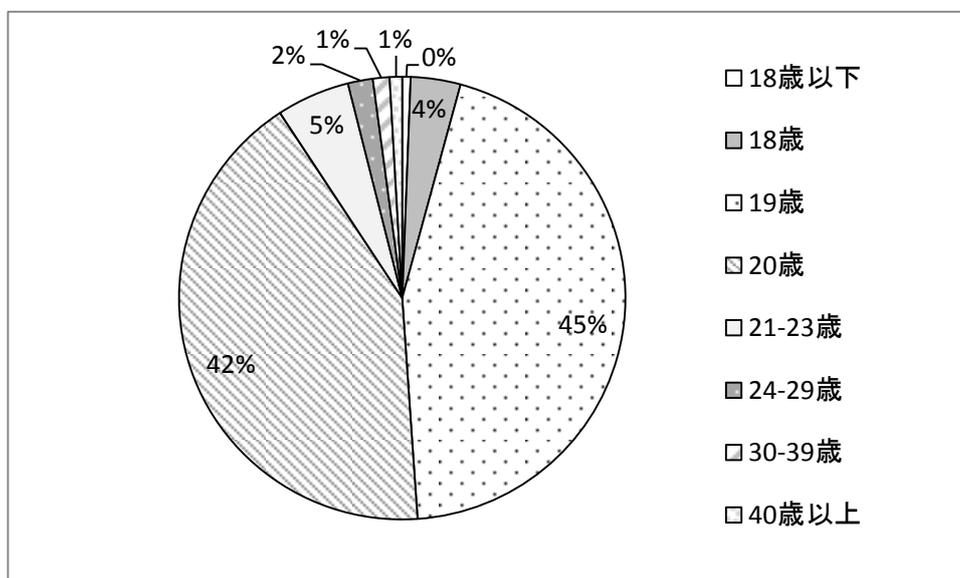
## 第1部 図と文章で示す集計結果

[1] あなたの性別をお答えください。



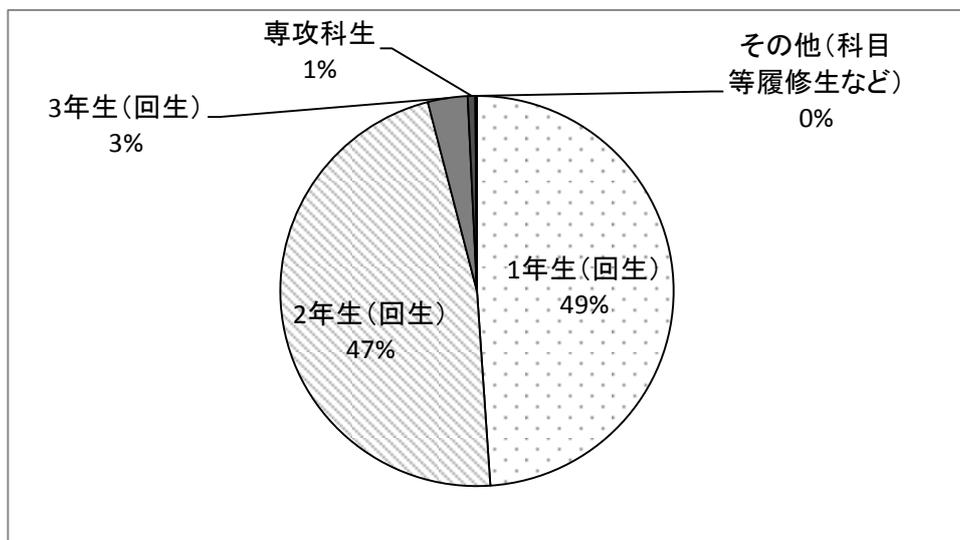
回答者のうち女性は92%、男性は8%となっている。

[2] 今年度（2014年4月～2015年3月）、あなたは何歳になりますか。



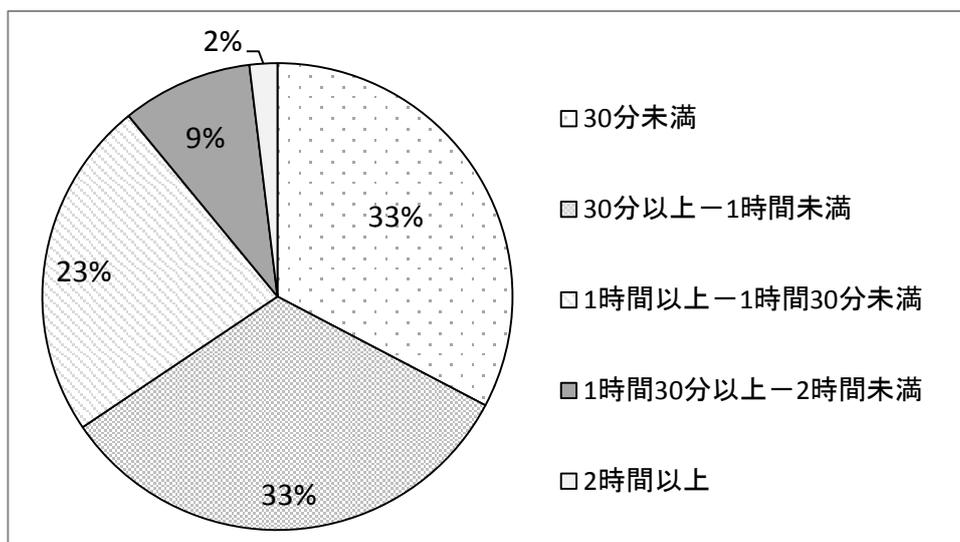
回答者の年齢構成は、18歳以下～19歳が91%を占めている。

[3] あなたの現在の在学状況を教えてください。



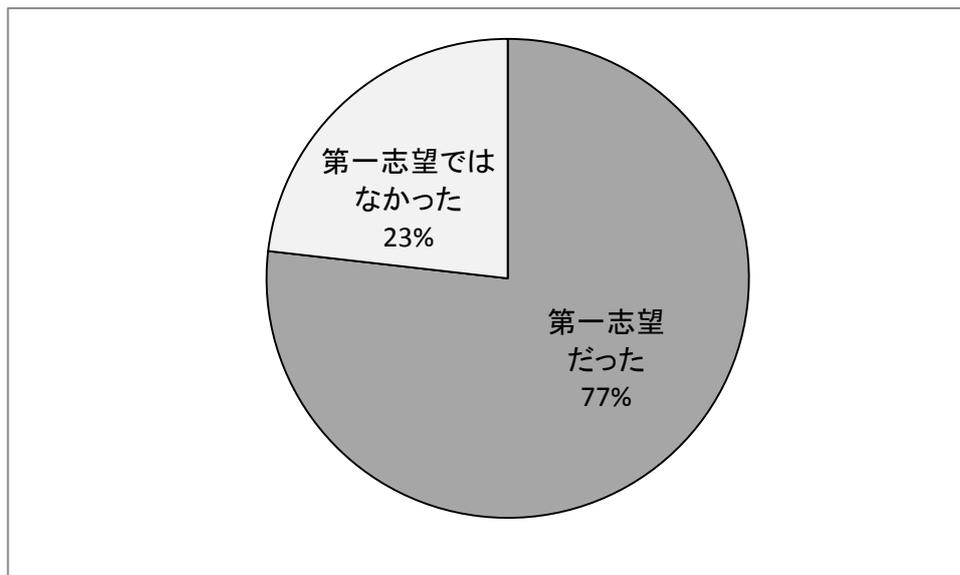
回答者の学年は、1年生と2年生がほぼ半々になっている。

[4] あなたの片道の通学時間はどれくらいですか。



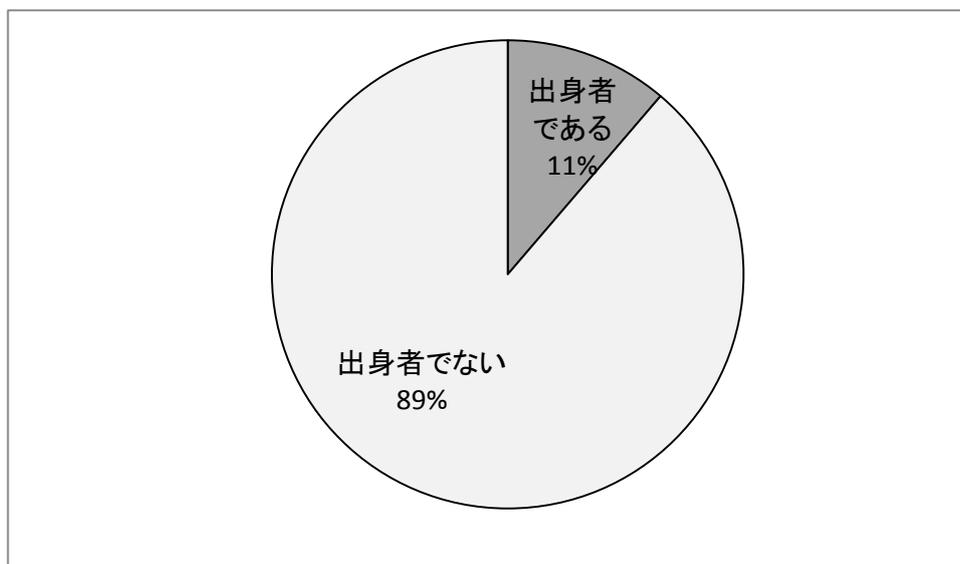
回答者の通学時間は、30分未満が33%、30分以上から1時間未満が33%であり、1時間未満が計66%である。

[5] 本学はあなたの第一志望でしたか。



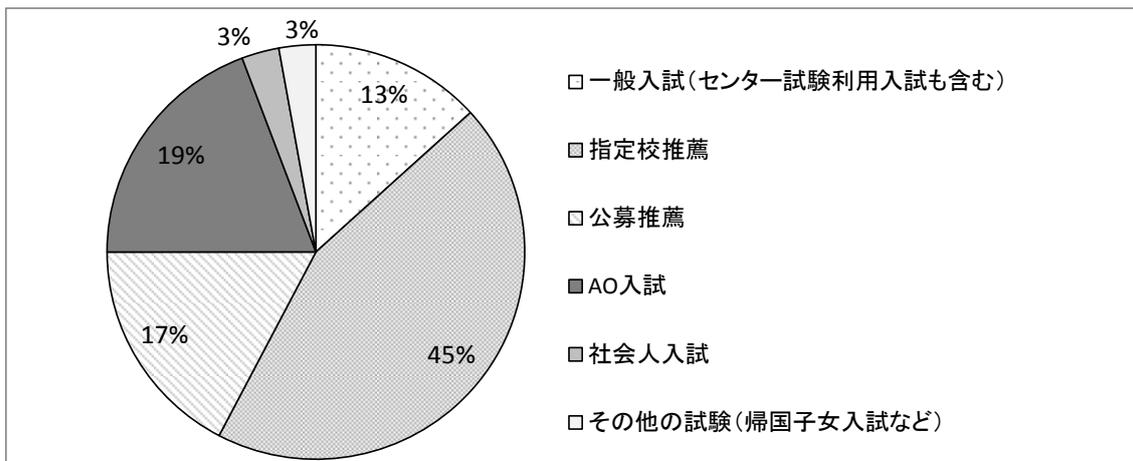
第一志望で短大に進学した者は多く、回答者のうち 77%を占めている。

[6] あなたは本学の付属高校や系列校の出身者ですか。



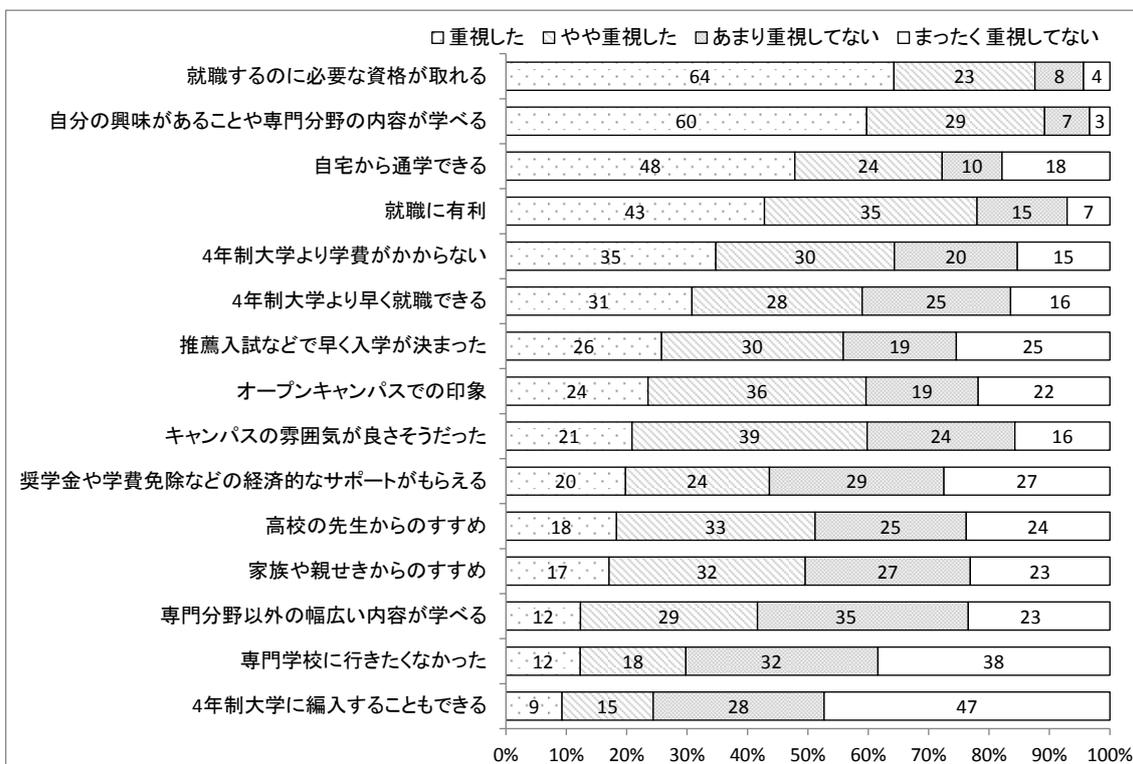
付属高校や系列校の出身者は 11%であり、ほとんどの短大生が、外部からの入学者である。

[7] あなたはどのような入学試験を受けて、本学に入学しましたか。



指定校推薦によって入学した短大生は 45%と最も高い割合になっている。指定校推薦、公募推薦、AO入試を合わせると 81%に及び、多くが一般入試以外の入学試験によって入学している。

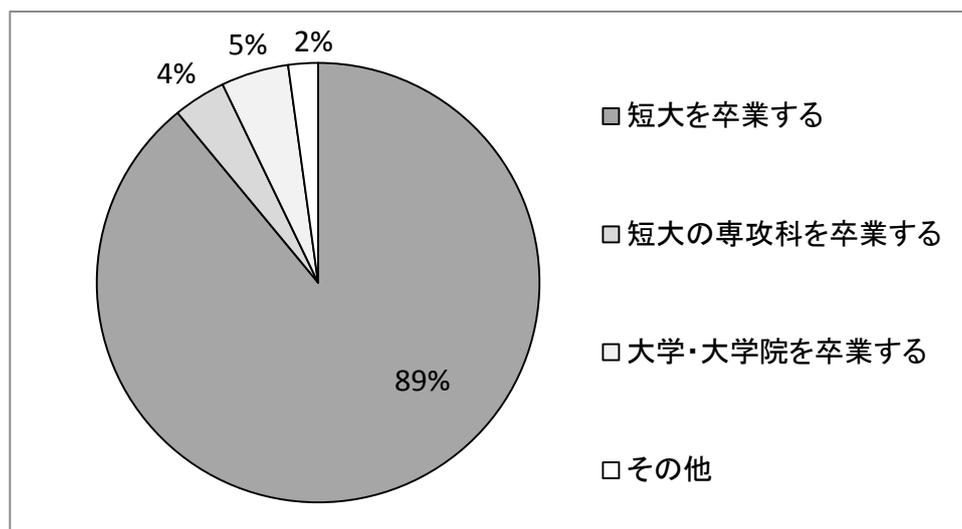
[8] あなたが今の短大に進学を決めたとき、次のことはどのくらい重視しましたか。



進学を重視した要因について、「やや重視した」と「重視した」のパーセンテージが多い項目を見ると、「就職するのに必要な資格が取れる (87%)」、「自分の興味があることや専門分野の内容が学べる (89%)」、「自宅から通学できる (72%)」である。以下も、「就職に有利」、「4年制大学より学費がかからない」、「4年制大学より早く就職できる」と続いており、

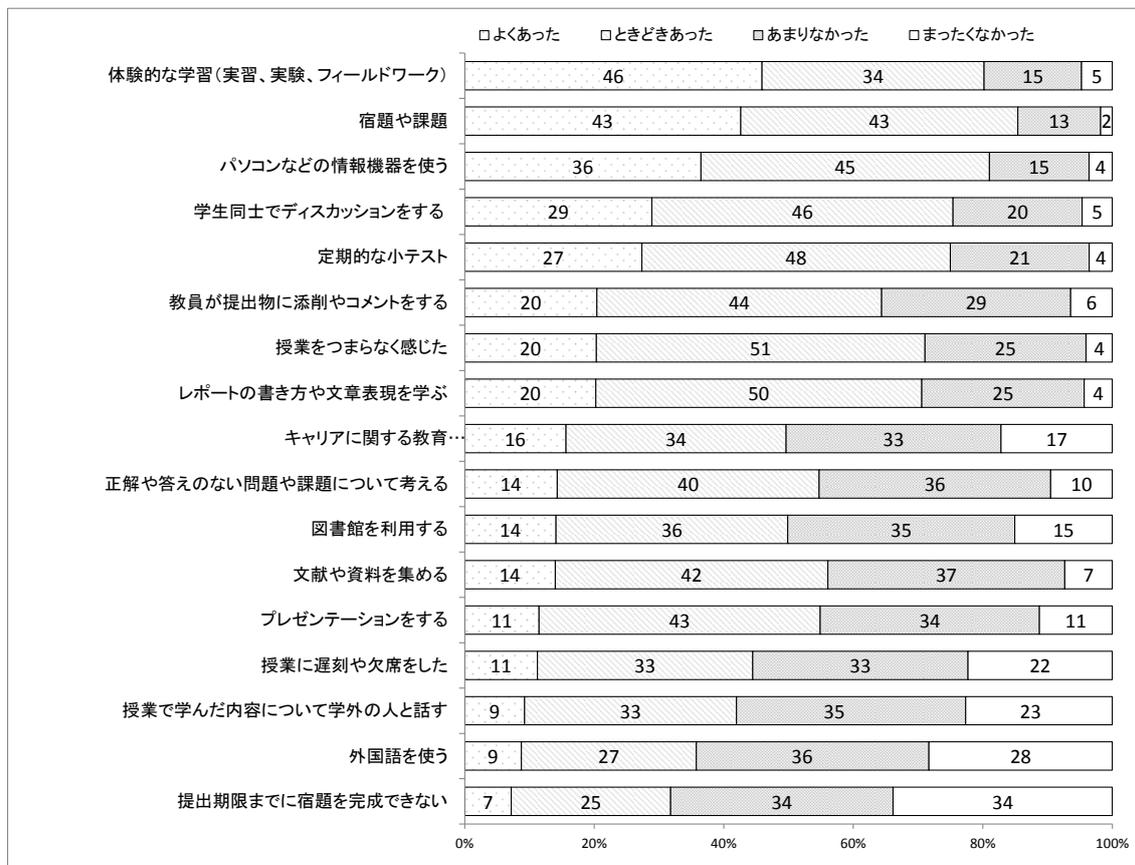
就職に対する高い意識を持ち、出来るだけ早く社会に出たい（あるいは出なければならない）と推測できる。「4年制大学に編入することもできる」を重視している短大生が非常に少ないのも、多くの短大生が短大を卒業し就職することを考えているといえる。

[9] あなたは将来的に、どの程度まで進学を考えていますか。



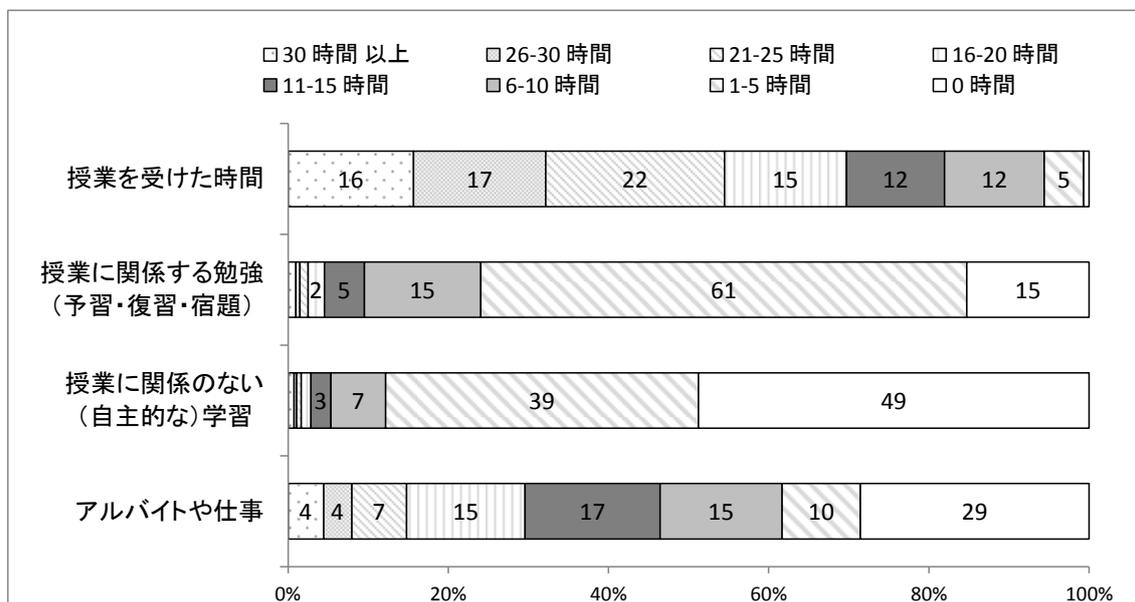
89%の短大生が短大の卒業まで考えており、それ以上の進学は考えていない。

[10] あなたが受講した授業では、次のようなことはどのくらいありましたか。



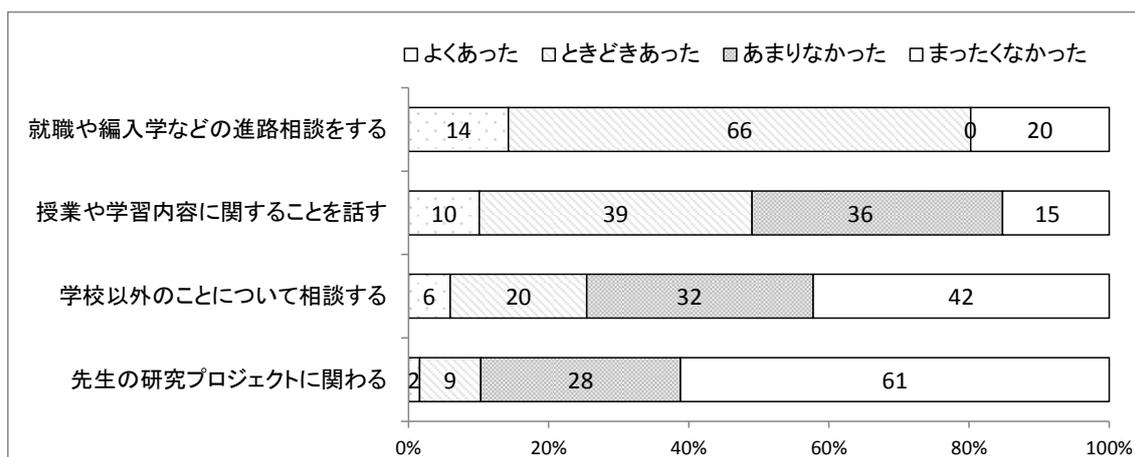
授業における経験について「ときどきあった」と「よくあった」を合わせたパーセンテージが高い項目を見ると、「体験的な学習（実習、実験、フィールドワーク）（80%）」、「宿題や課題（86%）」、「パソコンなどの情報機器を使う（81%）」などである。「体験的な学習」については、教育実習などを伴う分野が多いため、高いパーセンテージになっていると考えられる。「宿題や課題」、「定期的な小テスト」だけでなく、「学生同士でディスカッションをする」のような学習方法も多くの短大で採用されているといえる。しかし、「プレゼンテーションをする」、「授業で学んだ内容について学外の人と話す」、「外国語を使う」といったディスカッション以外のコミュニケーションに関する項目はやや少なくなっている。「図書館を利用する」や「文献や資料を集める」といったパーセンテージも一定程度あり、全体的に見ると概ね適切な学習活動がなされていると推測できる。

[11] あなたは今学期のふつうの1週間の中で、次の活動にどれくらい時間を費やしましたか。



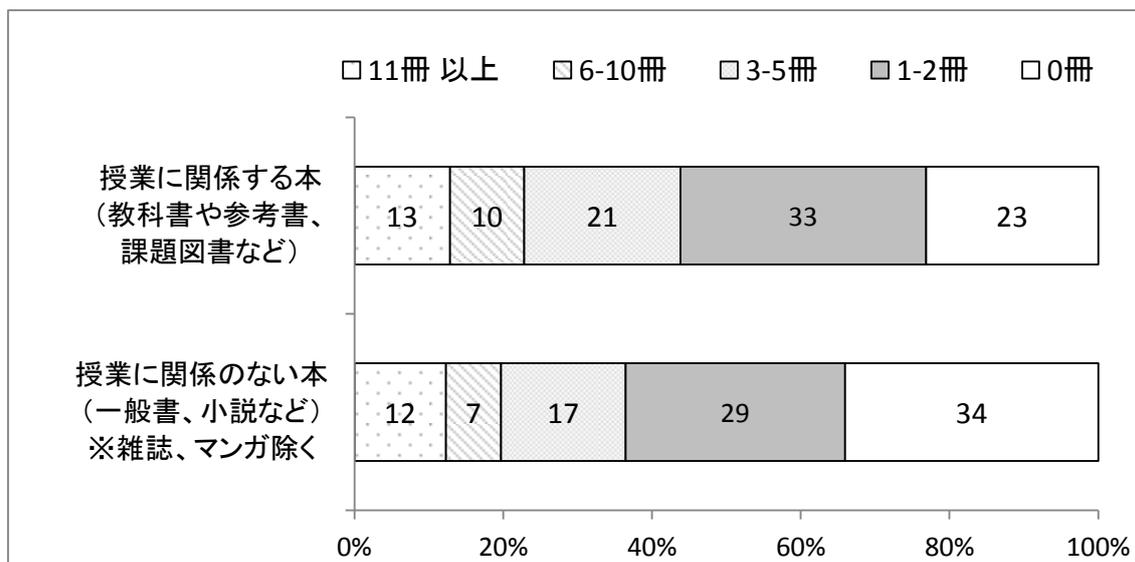
「授業を受けた時間」を見ると、20時間以上が55%、30時間以上という短大生も16%おり、多くの短大生が授業に時間を費やしているといえる。「授業に関する勉強（予習・復習・宿題）」を少しでもやっている短大生は85%、「授業に関係のない（自主的な）学習」についても51%である。その一方で、「アルバイトや仕事」は29%が全くやっておらず、20時間以上の短大生は15%程度にとどまっている。

[12] 今の短大に入学して、先生との間で次のような機会はどのくらいありましたか。



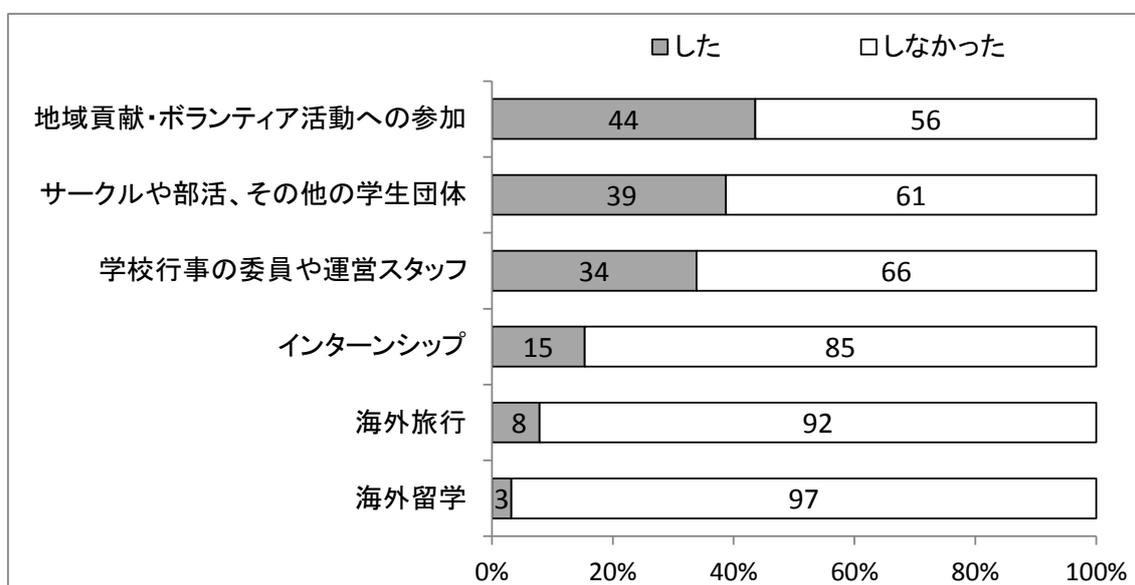
進路相談などの先生との具体的なやり取りの機会については、一定程度の回数があったとみられるが、その一方で「就職や編入学などの進路相談をする」は20%、「授業や学習内容に関する話を」については15%の短大生が「まったくなかった」と回答しており、先生とまったくコミュニケーションを取っていない学生も見られる。

[13] あなたは今年度に入って、次のようなことをどのくらいしましたか。



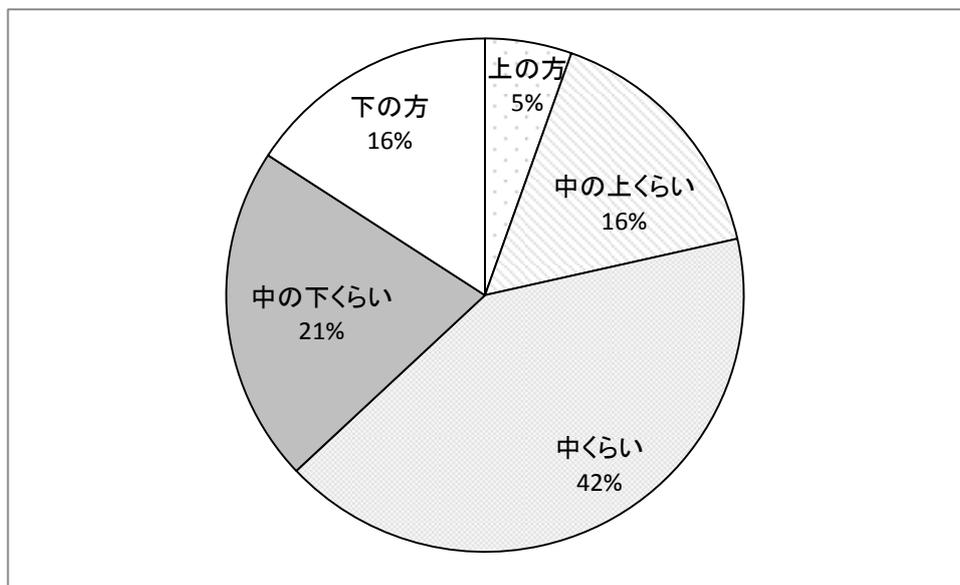
「授業に関する本を読んだ冊数」は、3冊以上を読んでいる短大生が44%で、11冊以上も13%いる。「授業に関係のない本を読んだ冊数」は、授業に関する本より少ない。学年別や学校の分野の検討をする必要もあるが、授業に関する本でも0冊が23%に及んでいる点は問題点と言えるだろう。

[14] 今の短大に入学して、次のような活動に参加したり体験したりしましたか。



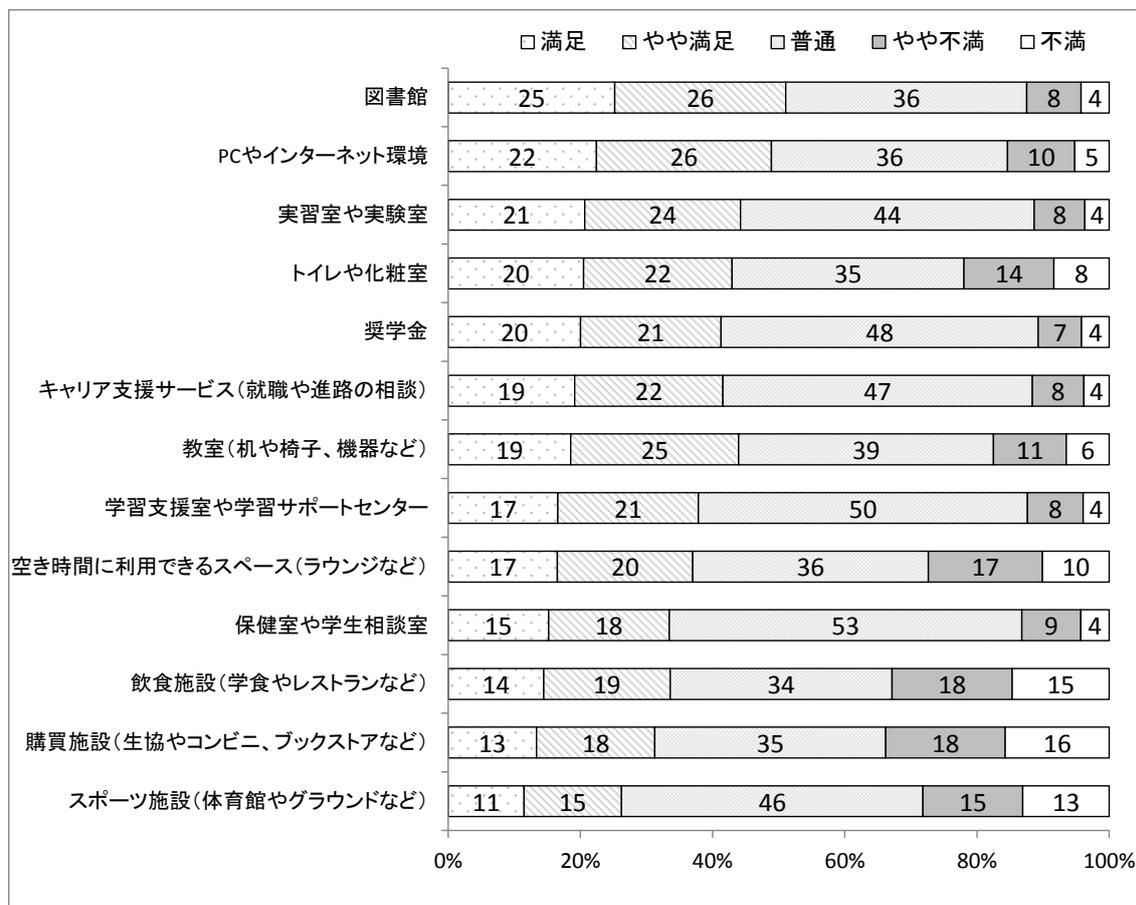
課外活動状況は、「地域貢献・ボランティア活動への参加」については44%の短大生が行っているが、その他の活動についてはあまりなされていない。「海外留学」や「海外旅行」については10%もいなかった。

[15] あなたの本学での成績はどれくらいですか。



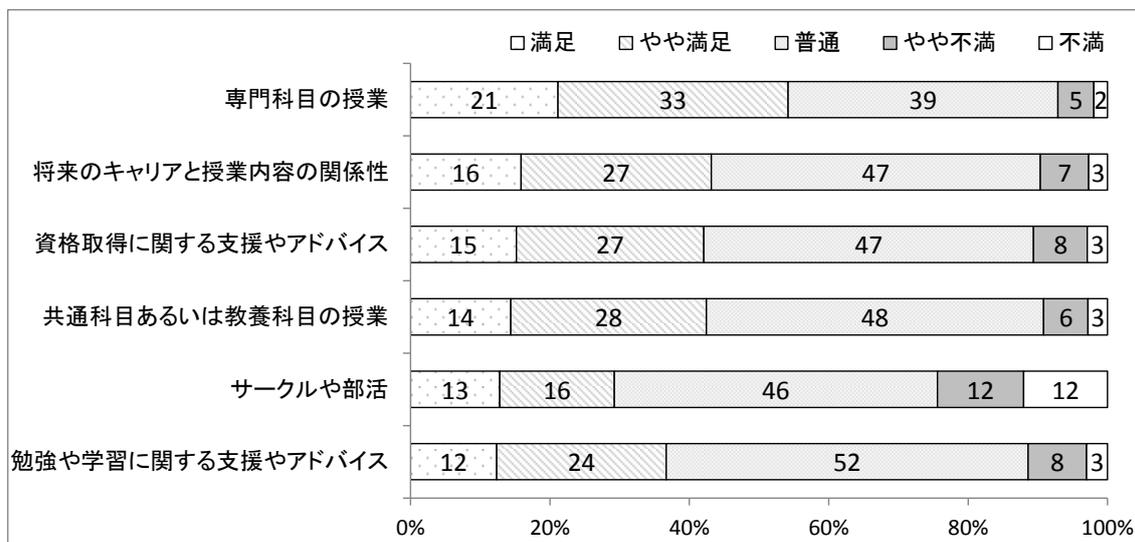
成績についての自己評価は、「中くらい」が 42%ともっとも多く、「中くらい」から「上の方」までを合わせるとおおよそ 60%程度となっている。「下の方」と答えた短大生は 16%であった。

[16] あなたは、本学の施設やサービスにどの程度満足していますか。



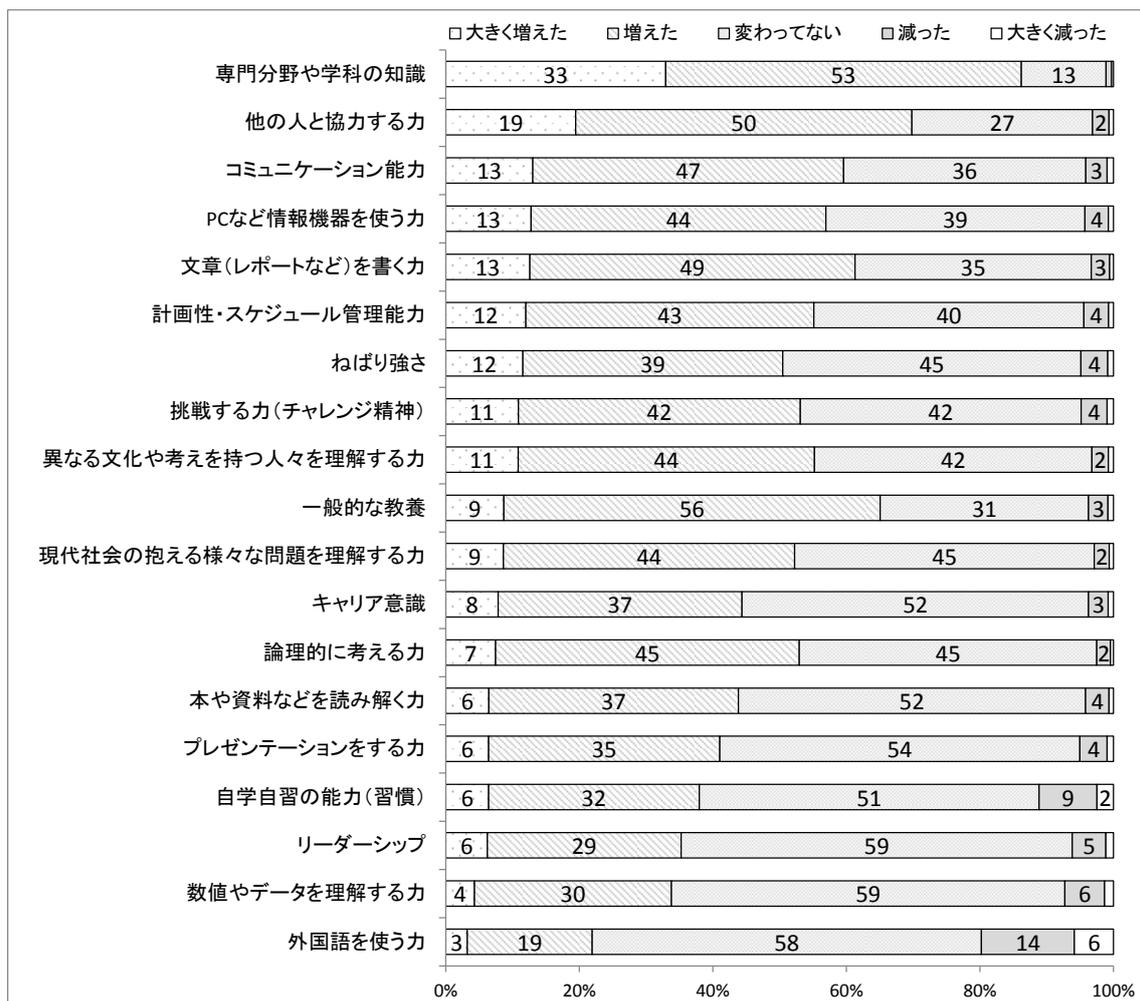
施設やサービスについての満足度が比較的高い（やや満足と満足を合わせたパーセンテージ）項目を見ると、「図書館（51%）」、「PC やインターネット環境（48%）」、「実習室や実験室（45%）」である。一方、不満とやや不満を合わせたパーセンテージが高い項目を見ると「購買施設（34%）」、「飲食施設（33%）」、「空き時間に利用できるスペース（27%）」、「トイレや化粧室（22%）」など、短大生にとって比較的身近な場所ほど高くなっている。なお、本質問項目では、短大によっては施設設備を有していない場合もあることから、該当なしという解答欄を設けているため、項目によって回答者数が異なっている。

[17] あなたは、本学の教育にどの程度満足していますか。



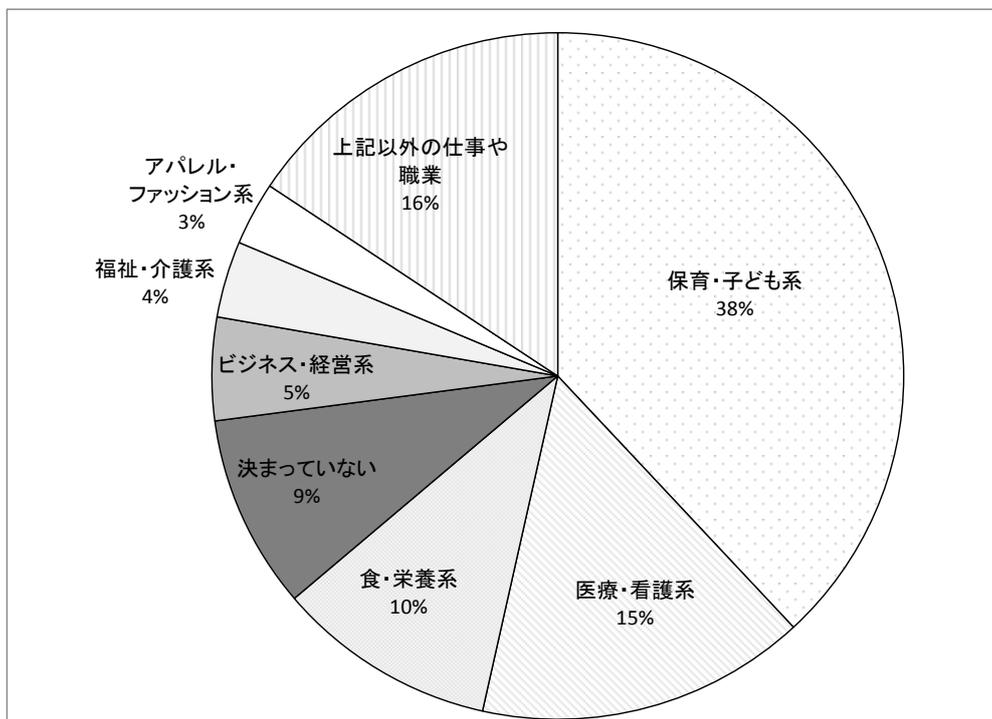
短大の教育全般についての満足度は、「サークルや部活」については、若干不満を抱える短大生が多いが、全体的には「普通」以上の評価となっている。ただし、もっとも満足度が高い「専門科目の授業」でも、やや満足と満足を合わせて54%であることから、短大生の満足度を上げる取組みの余地はまだ残されているといえる。

[18] 今の短大に入学して、あなたの能力や知識ほどの程度変化（向上）しましたか。



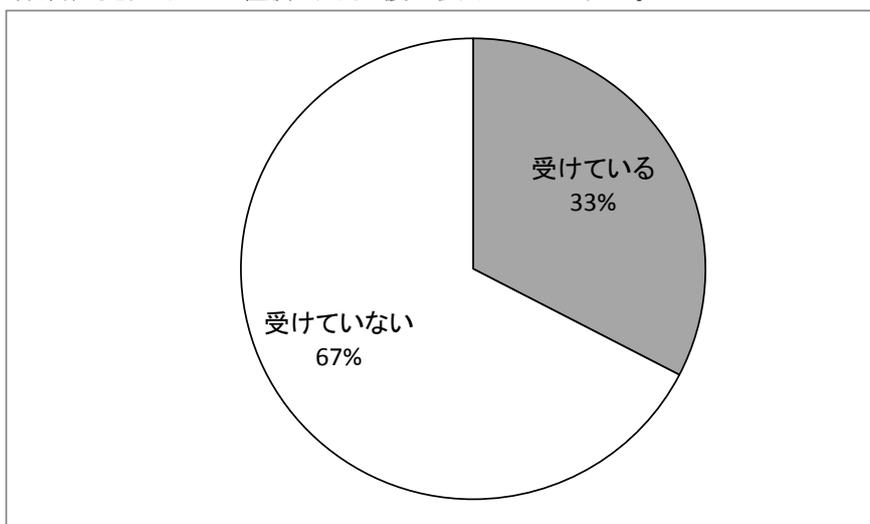
短大に入学して、能力や知識の変化についての自己評価は、もともと能力が向上した（「増えた」と「大きく増えた」を合わせた）項目は「専門分野や学科の知識（86%）」であり、そのうち「大きく増えた」と答えた短大生も33%いる。その他の項目を見ると、「他の人と協力する力」、「コミュニケーション能力」、「文章を書く力」、「一般的な教養」については60%を越えている。その一方で、上記に示した項目以外は、「変わっていない」という回答が主なものであり、これらの短大生の回答が「増えた」となるように改善をしていく必要があるだろう。

[19] あなたは将来、どのような職業やキャリアに進みたいですか。



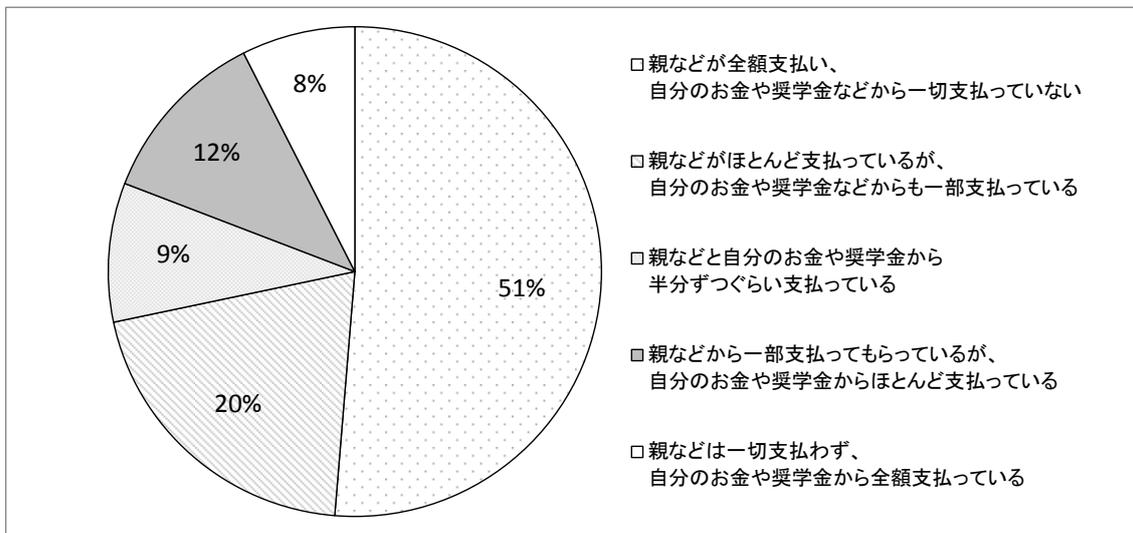
短大生の将来の進路について、パーセンテージの多い項目を見ると、保育・子ども系が38%、医療・看護系が15%、食・栄養系が10%となっている。(注：なお、本調査の学科分類に基づく分野別学生数は、保育・子ども系が5,880人(44%)、教養・総合系が2,029人(15%)、家政・生活系が1,029人(8%)である。以下の主なものは、ビジネス系と栄養・看護系が7%、看護系と福祉・リハビリが6%とそれぞれなっている。)

[20] あなたは今の短大から、学内独自の奨学金（※日本学生支援機構奨学金を除く）や学費（授業料）免除などの経済的な支援を受けていますか。



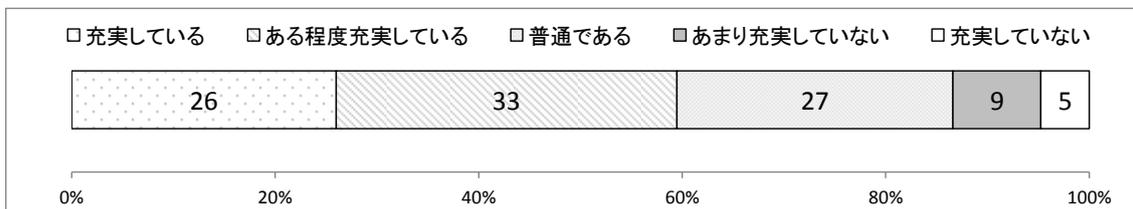
短大独自の奨学金や授業料減免制度を受けている短大生は33%いる。

[21] あなたの学費について、誰がどの程度支払いをしていますか。



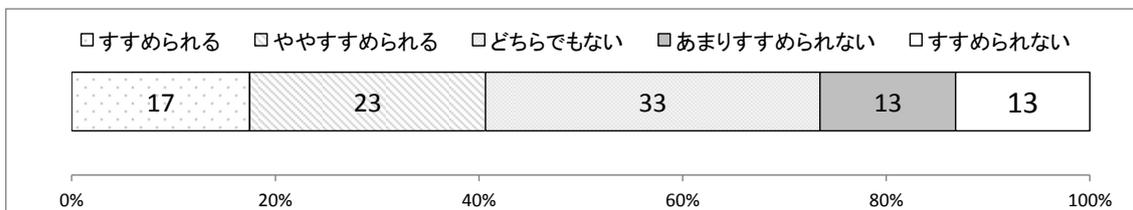
学費の支払いについて、親が全額を支払っているのは 51%であり半数程度である。残りの短大生は、ある程度は自分のお金を学費に使っている。自分でほとんど、もしくはすべてを支払っている短大生は 20%いる。

[22] あなたの学生生活は充実していますか。



短大生の学生生活の充実度は比較的高く、「ある程度充実している」と「充実している」を合わせるとおよそ 60%である。

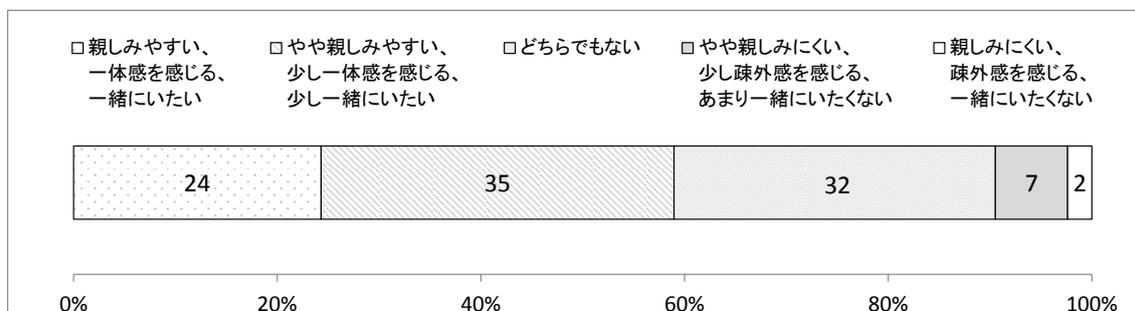
[23] あなたは自分が進学した短大を親しい友人や後輩、親せきにすすめられますか。



自短大を他者にすすめられるかどうかについては、「ややすすめられる」と「すすめられる」を合わせて 40%程度にとどまっている。一方、「あまりすすめられない」と「すすめられない」を合わせておよそ 26%である。

[24-1] あなたの通っている短大についての総合評価をお聞きします。次のようなことについてあなたの評価として一番近いものをそれぞれ1つだけ選んでください

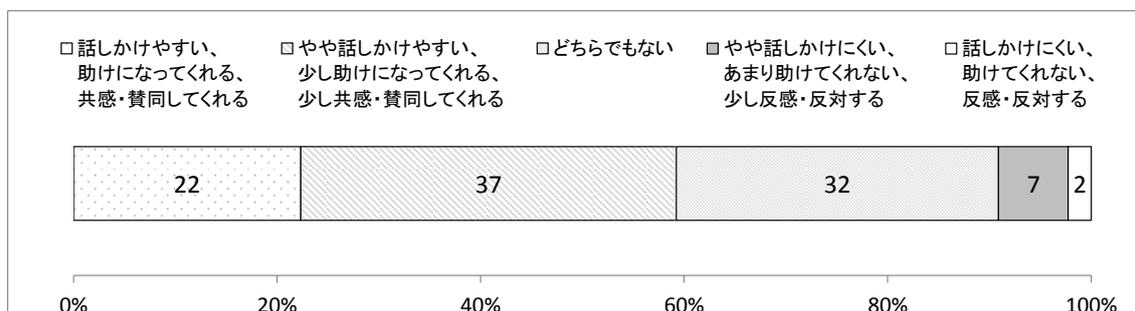
：他の学生



他の学生に関する総合評価については、「親しみやすい」と「やや親しみやすい」を併せて59%であり、概ね好評価である。

[24-2] あなたの通っている短大についての総合評価をお聞きします。次のようなことについてあなたの評価として一番近いものをそれぞれ1つだけ選んでください

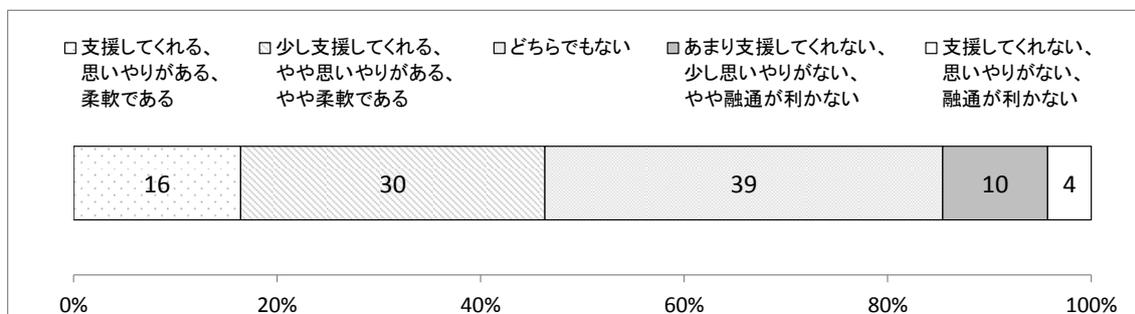
：短大の先生



短大の先生の総合的な評価は、「話しかけやすい」と「やや話しかけやすい」を併せて59%であり、概ね好評価である。

[24-3] あなたの通っている短大についての総合評価をお聞きします。次のようなことについてあなたの評価として一番近いものをそれぞれ1つだけ選んでください

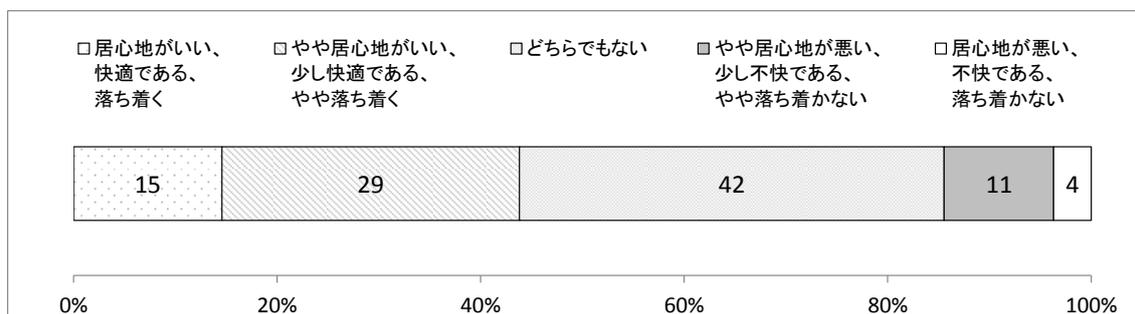
： 短大の事務職員



事務職員の総合的な評価は、他の学生や先生と比べると若干評価が低く、「支援してくれる」と「少し支援してくれる」を合わせても半数に届いていない。

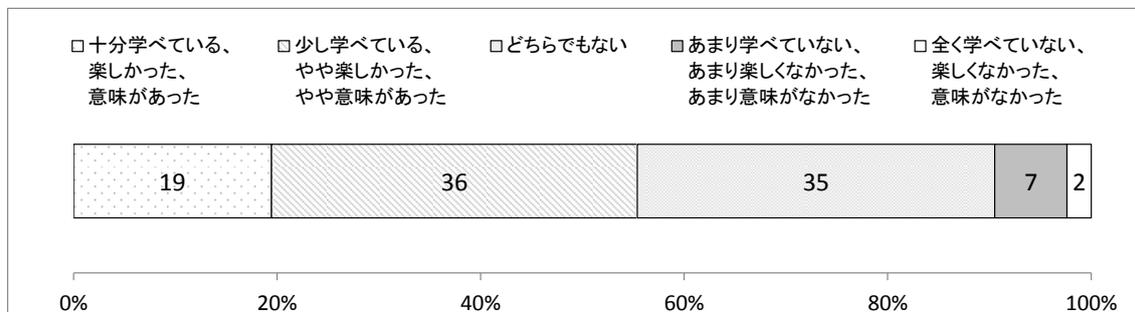
[24-4] あなたの通っている短大についての総合評価をお聞きします。次のようなことについてあなたの評価として一番近いものをそれぞれ1つだけ選んでください

： 短大やキャンパス



短大やキャンパスの総合的な評価については、「居心地がいい」と「やや居心地がいい」を合わせて44%に留まっている。居心地が悪い層が多くいるわけではないが、「どちらでもない」と回答した短大生が42%となっており、この部分は改善の余地があるように見える。

[24-5] あなたの通っている短大についての総合評価をお聞きます。次のようなことについてあなたの評価として一番近いものをそれぞれ1つだけ選んでください  
 : 短大での学び (学習)



学習面の総合評価は「少し学べている」以上が55%である。調査時期が11月前後であることを考えれば、ある程度は皆学習経験を有していることから、パーセンテージの改善を心がける必要があるだろう。

## 第2部 集計一覧

[1] あなたの性別をお答えください。

	度数	パーセント
男性	981	8.1
女性	11074	91.9
合計	12055	100.0
無回答	38	

[2] 今年度（2014年4月～2015年3月）、あなたは何歳になりますか。

	度数	パーセント
18歳以下	507	4.2
19歳	5366	44.6
20歳	5028	41.7
21-23歳	633	5.3
24-29歳	211	1.8
30-39歳	143	1.2
40-54歳	85	0.7
55歳以上	71	0.6
合計	12044	
無回答	49	100.0

[3] あなたの現在の在学状況を教えてください。

	度数	パーセント
1年生(回生)	5905	48.9
2年生(回生)	5682	47.1
3年生(回生)	395	3.3
専攻科生	75	0.6
その他(科目等履修生など)	15	0.1
合計	12072	
無回答	21	100.0

[4] あなたの片道の通学時間はどれくらいですか。

	度数	パーセント
30分未満	3951	32.7
30分以上－1時間未満	3963	32.8
1時間以上－1時間30分未満	2844	23.6
1時間30分以上－2時間未満	1086	9.0
2時間以上	231	1.9
合計	12075	
無回答	18	100.0

[5] 本学はあなたの第一志望でしたか。

	度数	パーセント
第一志望だった	9276	76.8
第一志望ではなかった	2799	23.2
合計	12075	
無回答	18	100.0

[6] あなたは本学の付属高校や系列校の出身者ですか。

	度数	パーセント
出身者である	1354	11.2
出身者でない	10712	88.8
合計	12066	
無回答	27	100.0

[7] あなたはどのような入学試験を受けて、本学に入学しましたか。

	度数	パーセント
一般入試(センター試験利用入試も含む)	1598	13.3
指定校推薦	5353	44.4
公募推薦	2088	17.3
AO入試	2322	19.3
社会人入試	349	2.9
その他の試験(帰国子女入試など)	343	2.8
合計	12053	
無回答	40	100.0

[8] あなたが今の短大に進学を決めたとき、次のことはどのくらい重視しましたか。

	まったく重視して ない	あまり重視して ない	やや重視 した	重視した	合計	無回答
家族や親せきからのすすめ	2791 23.1	3297 27.3	3921 32.5	2062 17.1	12071 100.0	22
高校の先生からのすすめ	2870 23.8	3017 25.0	3964 32.9	2210 18.3	12061 100.0	32
推薦入試などで早く入学が決まった	3059 25.4	2258 18.7	3624 30.1	3102 25.8	12043 100.0	50
自宅から通学できる	2155 17.9	1198 9.9	2943 24.4	5774 47.8	12070 100.0	23
4年制大学より学費がかからない	1846 15.3	2455 20.4	3567 29.6	4192 34.8	12060 100.0	33
奨学金や学費免除などの経済的なサポートがもらえる	3310 27.5	3486 28.9	2872 23.8	2386 19.8	12054 100.0	39
自分の興味があることや専門分野の内容が学べる	405 3.4	897 7.4	3554 29.5	7207 59.7	12063 100.0	30
就職に有利	854 7.1	1797 14.9	4247 35.2	5164 42.8	12062 100.0	31
就職するのに必要な資格が取れる	523 4.3	974 8.1	2819 23.3	7757 64.3	12073 100.0	20
4年制大学より早く就職できる	1983 16.4	2962 24.6	3401 28.2	3712 30.8	12058 100.0	35
4年制大学に編入することもできる	5705 47.3	3415 28.3	1819 15.1	1120 9.3	12059 100.0	34
キャンパスの雰囲気が良さそうだった	1896 15.7	2952 24.5	4694 38.9	2519 20.9	12061 100.0	32
専門学校に行きたくなかった	4633 38.4	3835 31.8	2111 17.5	1483 12.3	12062 100.0	31
専門分野以外の幅広い内容が学べる	2826 23.4	4212 34.9	3534 29.3	1488 12.3	12060 100.0	33
オープンキャンパスでの印象	2630 21.8	2240 18.6	4355 36.1	2836 23.5	12061 100.0	32

[9] あなたは将来的に、どの程度まで進学を考えていますか。

	度数	パーセント
短大を卒業する	10707	89.1
短大の専攻科を卒業する	462	3.8
大学・大学院を卒業する	593	4.9
その他	261	2.2
合計	12023	
無回答	70	100.0

[10] あなたが受講した授業では、次のようなことはどのくらいありましたか。

	まったく なかった	あまり なかった	ときどき あった	よくあ った	合計	無回答
プレゼンテーションをする	1358 11.3	4083 33.8	5239 43.4	1387 11.5	12067 100.0	26
学生同士でディスカッションをする	564 4.7	2406 19.9	5614 46.5	3491 28.9	12075 100.0	18
教員が提出物に添削やコメントをする	776 6.4	3524 29.2	5307 44.0	2467 20.4	12074 100.0	19
文献や資料を集める	884 7.3	4415 36.6	5078 42.1	1689 14.0	12066 100.0	27
図書館を利用する	1817 15.1	4225 35.0	4316 35.8	1702 14.1	12060 100.0	33
体験的な学習(実習、実験、フィールドワーク)	572 4.7	1815 15.0	4139 34.3	5541 45.9	12067 100.0	26
キャリアに関する教育 (キャリア開発、キャリアデザイン、インターンシップなど)	2069 17.2	4000 33.2	4095 34.0	1885 15.6	12049 100.0	44
定期的な小テスト	429 3.6	2586 21.4	5745 47.6	3302 27.4	12062 100.0	31
宿題や課題	216 1.8	1545 12.8	5162 42.8	5145 42.6	12068 100.0	25
提出期限までに宿題を完成できない	4083 33.8	4145 34.4	2969 24.6	868 7.2	12065 100.0	28
授業をつまらなく感じた	489 4.1	2999 24.9	6118 50.7	2451 20.3	12057 100.0	36
授業に遅刻や欠席をした	2687 22.3	4011 33.2	4011 33.2	1356 11.2	12065 100.0	28
授業で学んだ内容について学外の人と話す	2730 22.6	4264 35.4	3943 32.7	1118 9.3	12055 100.0	38
正解や答えのない問題や課題について考える	1146 9.5	4311 35.7	4879 40.5	1724 14.3	12060 100.0	33
レポートの書き方や文章表現を学ぶ	522 4.3	3025 25.1	6071 50.3	2443 20.3	12061 100.0	32
パソコンなどの情報機器を使う	434 3.6	1857 15.4	5375 44.5	4405 36.5	12071 100.0	22
外国語を使う	3412 28.3	4328 35.9	3257 27.0	1055 8.8	12052 100.0	41

[11] あなたは今学期のふつうの1週間の中で、次の活動にどれくらい時間を費やしましたか。

	0時間	1-5時 間	6-10 時間	11-15 時間	16-20 時間	21-25 時間	26-30 時間	30時間 以上	合計	無回答
授業を受けた時間	83 0.7	589 4.9	1494 12.5	1464 12.2	1826 15.2	2676 22.3	1978 16.5	1874 15.6	11984 100.0	109
授業に関係する勉強(予習・復習・宿題)	1838 15.3	7303 60.7	1750 14.5	599 5.0	247 2.1	123 1.0	58 0.5	117 1.0	12035 100.0	58
授業に関係のない(自主的な)学習	5868 48.8	4696 39.0	821 6.8	301 2.5	145 1.2	70 0.6	39 0.3	88 0.7	12028 100.0	65
アルバイトや仕事	3437 28.6	1176 9.8	1834 15.2	2028 16.9	1779 14.8	825 6.9	422 3.5	533 4.4	12034 100.0	59

[12] 今の短大に入学して、先生との間で次のような機会はどのくらいありましたか。

	まったく なかった	あまり なかった	ときどき あった	よくあった	合計	無回答
就職や編入学などの進路相談をする	2387 19.8	0 0.0	7962 66.0	1722 14.3	12071 100.0	22
先生の研究プロジェクトに関わる	7384 61.2	3439 28.5	1051 8.7	193 1.6	12067 100.0	26
授業や学習内容に関する話を話す	1838 15.2	4317 35.8	4697 38.9	1220 10.1	12072 100.0	21
学校以外のことについて相談する	5099 42.2	3901 32.3	2354 19.5	717 5.9	12071 100.0	22

[13] あなたは今年度に入って、次のようなことをどのくらいしましたか。

	0冊	1-2冊	3-5冊	6-10冊	11冊以上	合計	無回答
授業に関係のない本を読んだ冊数 (一般書、小説など。※雑誌、マンガ除く)	2789 23.1	3987 33.1	2530 21.0	1205 10.0	1548 12.8	12059 100.0	34
授業に関係する本を読んだ冊数 (教科書や参考書、課題図書など)	4108 34.1	3557 29.5	2022 16.8	895 7.4	1480 12.3	12062 100.0	31

[14] 今の短大に入学して、次のような活動に参加したり体験したりしましたか。

	した	しなかつ た	合計	無回答
サークルや部活、その他の学生団体	4676 38.7	7392 61.3	12068 100.0	25
学校行事の委員や運営スタッフ	4085 33.8	7984 66.2	12069 100.0	24
インターンシップ	1850 15.3	10203 84.7	12053 100.0	40
地域貢献・ボランティア活動への参加	5262 43.6	6806 56.4	12068 100.0	25
海外留学	389 3.2	11679 96.8	12068 100.0	25
海外旅行	950 7.9	11113 92.1	12063 100.0	30

[15] あなたの本学での成績はどれくらいですか。

	度数	パーセント
上の方	646	5.4
中の上くらい	1912	16.0
中くらい	4948	41.5
中の下くらい	2522	21.2
下の方	1885	15.8
合計	11913	
無回答	180	100.0

[16a] あなたは、本学の施設やサービスにどの程度満足していますか。(該当なしと無回答を欠損値扱い)

	不満	やや不満	普通	やや満足	満足	合計	欠損値
教室(机や椅子、機器など)	781 6.5	1325 11.0	4634 38.5	3054 25.4	2230 18.5	12024 100.0	69
実習室や実験室	412 3.7	857 7.7	4970 44.4	2639 23.6	2310 20.6	11188 100.0	905
PCやインターネット環境	624 5.2	1213 10.1	4272 35.7	3162 26.5	2681 22.4	11952 100.0	141
図書館	500 4.2	969 8.2	4297 36.5	3049 25.9	2968 25.2	11783 100.0	310
学習支援室や学習サポートセンター	419 4.0	890 8.4	5273 49.8	2251 21.3	1757 16.6	10590 100.0	1503
空き時間に利用できるスペース(ラウンジなど)	1192 10.1	2037 17.3	4211 35.7	2417 20.5	1951 16.5	11808 100.0	285
奨学金	385 4.2	601 6.5	4407 48.0	1955 21.3	1839 20.0	9187 100.0	2906
キャリア支援サービス(就職や進路の相談)	419 3.8	852 7.8	5112 46.8	2450 22.4	2091 19.1	10924 100.0	1169
保健室や学生相談室	450 4.3	932 8.9	5571 53.3	1906 18.2	1588 15.2	10447 100.0	1646
トイレや化粧室	1003 8.4	1629 13.6	4205 35.1	2693 22.5	2454 20.5	11984 100.0	109
飲食施設(学食やレストランなど)	1661 14.7	2058 18.2	3799 33.6	2165 19.1	1635 14.4	11318 100.0	775
購買施設(生協やコンビニ、ブックストアなど)	1722 15.7	1981 18.1	3826 34.9	1959 17.9	1465 13.4	10953 100.0	1140
スポーツ施設(体育館やグラウンドなど)	1430 13.1	1652 15.1	4992 45.6	1612 14.7	1256 11.5	10942 100.0	1151

[16b] あなたは、本学の施設やサービスにどの程度満足していますか。

	不満	やや不満	普通	やや満足	満足	該当なし	合計	無回答
教室(机や椅子、機器など)	781 6.5	1325 11.0	4634 38.4	3054 25.3	2230 18.5	42 0.3	12066 100.0	27
実習室や実験室	412 3.4	857 7.1	4970 41.2	2639 21.9	2310 19.2	866 7.2	12054 100.0	39
PCやインターネット環境	624 5.2	1213 10.1	4272 35.4	3162 26.2	2681 22.2	109 0.9	12061 100.0	32
図書館	500 4.1	969 8.0	4297 35.6	3049 25.3	2968 24.6	272 2.3	12055 100.0	38
学習支援室や学習サポートセンター	419 3.5	890 7.4	5273 43.8	2251 18.7	1757 14.6	1449 12.0	12039 100.0	54
空き時間に利用できるスペース(ラウンジなど)	1192 9.9	2037 16.9	4211 34.9	2417 20.0	1951 16.2	250 2.1	12058 100.0	35
奨学金	385 3.2	601 5.0	4407 36.7	1955 16.3	1839 15.3	2813 23.4	12000 100.0	93
キャリア支援サービス(就職や進路の相談)	419 3.5	852 7.1	5112 42.5	2450 20.4	2091 17.4	1102 9.2	12026 100.0	67
保健室や学生相談室	450 3.7	932 7.7	5571 46.3	1906 15.8	1588 13.2	1582 13.2	12029 100.0	64
トイレや化粧室	1003 8.3	1629 13.5	4205 34.9	2693 22.4	2454 20.4	64 0.5	12048 100.0	45
飲食施設(学食やレストランなど)	1661 13.8	2058 17.1	3799 31.5	2165 18.0	1635 13.6	731 6.1	12049 100.0	44
購買施設(生協やコンビニ、ブックストアなど)	1722 14.3	1981 16.4	3826 31.7	1959 16.3	1465 12.2	1100 9.1	12053 100.0	40
スポーツ施設(体育館やグラウンドなど)	1430 11.9	1652 13.7	4992 41.4	1612 13.4	1256 10.4	1113 9.2	12055 100.0	38

[17a] あなたは、本学の教育にどの程度満足していますか。(わからないと無回答を欠損値扱い)

	不満	やや不満	普通	やや満足	満足	合計	欠損値
共通科目あるいは教養科目の授業	330 2.8	755 6.4	5711 48.3	3317 28.1	1699 14.4	11812 100.0	281
専門科目の授業	234 2.0	610 5.1	4600 38.7	3921 33.0	2514 21.2	11879 100.0	214
勉強や学習に関する支援やアドバイス	351 3.0	976 8.4	6038 51.9	2833 24.3	1437 12.4	11635 100.0	458
将来のキャリアと授業内容の関係性	314 2.7	810 7.0	5492 47.2	3177 27.3	1847 15.9	11640 100.0	453
資格取得に関する支援やアドバイス	334 2.9	889 7.7	5444 47.3	3098 26.9	1748 15.2	11513 100.0	580
サークルや部活	1061 12.0	1092 12.4	4088 46.3	1449 16.4	1130 12.8	8820 100.0	3273

[17b] あなたは、本学の教育にどの程度満足していますか。

	不満	やや不満	普通	やや満足	満足	わからない	合計	無回答
共通科目あるいは教養科目の授業	330 2.7	755 6.3	5711 47.4	3317 27.6	1699 14.1	225 1.9	12037 100.0	56
専門科目の授業	234 1.9	610 5.1	4600 38.2	3921 32.6	2514 20.9	167 1.4	12046 100.0	47
勉強や学習に関する支援やアドバイス	351 2.9	976 8.1	6038 50.1	2833 23.5	1437 11.9	408 3.4	12043 100.0	50
将来のキャリアと授業内容の関係性	314 2.6	810 6.7	5492 45.6	3177 26.4	1847 15.3	403 3.3	12043 100.0	50
資格取得に関する支援やアドバイス	334 2.8	889 7.4	5444 45.2	3098 25.7	1748 14.5	529 4.4	12042 100.0	51
サークルや部活	1061 8.9	1092 9.1	4088 34.2	1449 12.1	1130 9.4	3150 26.3	11970 100.0	123

[18] 今の短大に入学して、あなたの能力や知識はどの程度変化（向上）しましたか。

	大きく 減った	減った	変わって ない	増えた	大きく 増えた	合計	無回答
一般的な教養	97 0.8	350 2.9	3765 31.2	6802 56.4	1049 8.7	12063 100.0	30
専門分野や学科の知識	34 0.3	96 0.8	1532 12.7	6425 53.3	3973 32.9	12060 100.0	33
論理的に考える力	52 0.4	246 2.0	5373 44.6	5484 45.5	901 7.5	12056 100.0	37
異なる文化や考えを持つ人々を理解する力	91 0.8	297 2.5	5003 41.5	5349 44.4	1306 10.8	12046 100.0	47
リーダーシップ	137 1.1	603 5.0	7065 58.6	3496 29.0	753 6.2	12054 100.0	39
他の人と協力する力	79 0.7	298 2.5	3261 27.1	6069 50.4	2346 19.5	12053 100.0	40
現代社会の抱える様々な問題を理解する力	73 0.6	271 2.2	5409 44.9	5260 43.6	1040 8.6	12053 100.0	40
文章(レポートなど)を書く力	67 0.6	330 2.7	4267 35.4	5875 48.7	1517 12.6	12056 100.0	37
本や資料などを読み解く力	77 0.6	426 3.5	6270 52.0	4508 37.4	778 6.5	12059 100.0	34
数値やデータを理解する力	157 1.3	716 5.9	7100 58.9	3555 29.5	517 4.3	12045 100.0	48
外国語を使う力	703 5.8	1678 13.9	7025 58.3	2255 18.7	388 3.2	12049 100.0	44
コミュニケーション能力	112 0.9	386 3.2	4372 36.3	5609 46.5	1572 13.0	12051 100.0	42
プレゼンテーションをする力	111 0.9	493 4.1	6499 53.9	4170 34.6	774 6.4	12047 100.0	46
PCなど情報機器を使う力	88 0.7	425 3.5	4676 38.8	5321 44.2	1542 12.8	12052 100.0	41
自学自習の能力(習慣)	297 2.5	1041 8.6	6132 50.9	3801 31.6	773 6.4	12044 100.0	49
挑戦する力(チャレンジ精神)	113 0.9	469 3.9	5071 42.1	5089 42.2	1313 10.9	12055 100.0	38
ねばり強さ	100 0.8	484 4.0	5386 44.7	4694 38.9	1391 11.5	12055 100.0	38
計画性・スケジュール管理能力	87 0.7	445 3.7	4874 40.4	5202 43.2	1445 12.0	12053 100.0	40
キャリア意識	95 0.8	353 2.9	6256 51.9	4404 36.5	947 7.9	12055 100.0	38

[19] あなたは将来、どのような職業やキャリアに進みたいですか。

	度数	パーセント
医療・看護系(看護、歯科衛生士、放射線技師、療法士、医療事務など)	1840	15.4
運輸・通信系(自動車関連、航空関連、鉄道関連、電話やインターネット関連など)	77	0.6
学術系(短大・大学教員、学芸員、司書など)	124	1.0
保育・子ども系(幼稚園の先生や保育士など)	4541	38.1
学校・教育系(小中学校の先生、学校の職員、塾の先生や事務職員など)	229	1.9
機械・電気・化学系(メーカー、技術者など)	34	0.3
建築・インテリア系(建築家、測量士、インテリアコーディネーターなど)	40	0.3
公務員・政治・法律系(国家地方公務員、行政書士司法書士など)	131	1.1
コンピューター・Webゲーム・アニメ系(プログラマー、システムエンジニア、クリエイターなど)	64	0.5
語学・国際系(通訳翻訳、語学教師、国際機関や団体職員など)	74	0.6
食・栄養系(栄養士、調理士、製菓など)	1227	10.3
農林水産系(農業など)	18	0.2
スポーツ系(インストラクター、トレーナーなど)	84	0.7
デザイン・アート系(デザイナー、イラストレーターなど)	180	1.5
ビジネス・経営系(一般事務、秘書、金融など)	579	4.9
美容系(理美容、エステ、メイクなど)	98	0.8
福祉・介護系(介護福祉士、社会福祉士、ホームヘルパーなど)	429	3.6
アパレル・ファッション系(販売員、モデル、バイヤーなど)	356	3.0
マスコミ・芸能系(放送関係者、記者、俳優、演奏者など)	167	1.4
旅行・ホテル・ブライダル系(ホテル業、ブライダル業、観光業など)	238	2.0
上記以外の仕事や職業	310	2.6
決まっていない	1089	9.1
合計	11929	100.0
無回答	164	

[20] あなたは今の短大から、学内独自の奨学金（※日本学生支援機構奨学金を除く）や学費（授業料）免除などの経済的な支援を受けていますか。

	度数	パーセント
受けている	3920	32.6
受けていない	8102	67.4
合計	12022	
無回答	71	100.0

[21] あなたの学費について、誰がどの程度支払いをしていますか。

	度数	パーセント
親などが全額支払い、 自分のお金や奨学金などから一切支払っていない	6149	51.3
親などがほとんど支払っているが、 自分のお金や奨学金などからも一部支払っている	2443	20.4
親などと自分のお金や奨学金から 半分ずつぐらい支払っている	1100	9.2
親などから一部支払ってもらっているが、 自分のお金や奨学金からほとんど支払っている	1401	11.7
親などは一切支払わず、 自分のお金や奨学金から全額支払っている	893	7.5
合計	11986	
無回答	107	100.0

[22] あなたの学生生活は充実していますか。

	度数	パーセント
充実している	3117	26.0
ある程度充実している	4012	33.5
普通である	3253	27.1
あまり充実していない	1035	8.6
充実していない	569	4.7
合計	11986	
無回答	107	100.0

[23] あなたは自分が進学した短大を親しい友人や後輩、親せきにすすめられますか。

	度数	パーセント
すすめられる	2092	17.5
ややすすめられる	2772	23.2
どちらでもない	3930	32.9
あまりすすめられない	1592	13.3
すすめられない	1577	13.2
合計	11963	
無回答	130	100.0

[24-1] あなたの通っている短大についての総合評価をお聞きします。次のようなことについてあなたの評価として一番近いものをそれぞれ1つだけ選んでください  
：他の学生

	度数	パーセント
親しみやすい、一体感を感じる、一緒にいたい	2926	24.3
やや親しみやすい、少し一体感を感じる、少し一緒にいたい	4172	34.7
どちらでもない	3798	31.6
やや親しみにくい、少し疎外感を感じる、あまり一緒にいたくない	856	7.1
親しみにくい、疎外感を感じる、一緒にいたくない	285	2.4
合計	12037	
無回答	56	100.0

[24-2] あなたの通っている短大についての総合評価をお聞きします。次のようなことについてあなたの評価として一番近いものをそれぞれ1つだけ選んでください  
：短大の先生

	度数	パーセント
話しかけやすい、助けになってくれる、共感・賛同してくれる	2688	22.3
やや話しかけやすい、少し助けになってくれる、少し共感・賛同してくれる	4444	36.9
どちらでもない	3814	31.7
やや話しかけにくい、あまり助けしてくれない、少し反感・反対する	825	6.9
話しかけにくい、助けしてくれない、反感・反対する	272	2.3
合計	12043	
無回答	50	100.0

[24-3] あなたの通っている短大についての総合評価をお聞きます。次のようなことについてあなたの評価として一番近いものをそれぞれ1つだけ選んでください

：短大の事務職員

	度数	パーセント
支援してくれる、思いやりがある、柔軟である	1976	16.4
少し支援してくれる、やや思いやりがある、やや柔軟である	3601	29.9
どちらでもない	4709	39.1
あまり支援してくれない、少し思いやりがない、やや融通が利かない	1241	10.3
支援してくれない、思いやりがない、融通が利かない	516	4.3
合計	12043	
無回答	50	100.0

[24-4] あなたの通っている短大についての総合評価をお聞きます。次のようなことについてあなたの評価として一番近いものをそれぞれ1つだけ選んでください

：短大やキャンパス

	度数	パーセント
居心地がいい、快適である、落ち着く	1755	14.6
やや居心地がいい、少し快適である、やや落ち着く	3520	29.2
どちらでもない	5025	41.7
やや居心地が悪い、少し不快である、やや落ち着かない	1295	10.8
居心地が悪い、不快である、落ち着かない	444	3.7
合計	12039	
無回答	54	100.0

[24-5] あなたの通っている短大についての総合評価をお聞きます。次のようなことについてあなたの評価として一番近いものをそれぞれ1つだけ選んでください

：短大での学び（学習）

	度数	パーセント
十分学べている、楽しかった、意味があった	2340	19.4
少し学べている、やや楽しかった、やや意味があった	4327	36.0
どちらでもない	4227	35.1
あまり学べていない、あまり楽しくなかった、あまり意味がなかった	855	7.1
全く学べていない、楽しくなかった、意味がなかった	286	2.4
合計	12035	
無回答	58	100.0

### 第3部 参加校の意見

本調査研究では、データ入力作業等の整理が終了した平成27年2月に参加短期大学に当該短大の個別集計結果を提供し、同年4月に全体集計結果を中間報告としてまとめ、調査参加短期大学44校に送付した。その中間報告の送付にあわせ、以下の内容のアンケートを同封して、本調査研究への意見の提出を依頼した。

#### 「短大生調査2014 (Tandaiseichosa2014)」についてのアンケート

##### 1. 調査項目について

1-1.調査項目は貴学の学生への質問として、適切でしたか。

- 適切であった
- 大旨適切であった
- あまり適切ではなかった
- まったく適切ではなかった

1-2.上記で適切でなかった、改善を要する、あるいは不足していると感じた項目について、具体的にご指摘ください。

##### 2. 個別集計結果データについて

2-1.2015年2月にお届けした貴短期大学の個別集計結果データの活用状況について、お聞かせください。

- すでに活用している
- まだ活用していないが、活用が決まっている
- まだ活用していないが、活用の予定がある
- まだ活用していないが、活用を検討している
- 特に活用の予定がない

2-2.上記での活用の具体例について、お聞かせください。

2-3.次回から学科別のデータ集計が可能となる方法の検討をしていますが、どのように思われますか。

- できることが必要である
- できたほうが良い
- できなくても良い
- できる必要はない

2-4.その他、データについて気が付かれた点やご要望等がありましたらお聞かせください。

##### 3. 全体集計結果・中間報告書について

3-1.今回(2015年4月に)お届けした『全体集計結果・中間報告書』について、お聞かせください。

- すでに活用した
- 活用の予定がある

まだ活用していないが、参考になった

特に参考にならなかった

3-2.上記の活用方法、参考になった点等について、お聞かせください。

#### 4. 本短大生調査全般について

4-1.本協会のウェブサイトにてこれまでの短大生調査を基にした学術研究の成果が掲載されていますが、ご存知ですか。

知っており、内容を活用したことがある

知っており、参照したことがある

知ってはいるが、参照したことがない

存在を知らなかった

4-2.本短大生調査へ過去にもご参加いただいている場合、経年データの貴学でのご活用実態等について、お聞かせください。

#### 5. その他

5-1.短大生調査へのご感想、ご要望等ございましたらお聞かせください。

その結果、44校中41校からの回答を得た（回収率、93.2%）。下記は、そのアンケートの集計結果である。

なお、文章による回答部分については、固有名詞等を除き原文のまま掲載している。

### [アンケート集計結果]

#### 1-1.調査項目は貴学の学生への質問として

① 適切であった ..... 15校 (36.6%)

② 大旨適切であった ..... 26校 (63.4%)

③ あまり適切ではなかった ..... 0校 ( 0%)

④ まったく適切ではなかった ..... 0校 ( 0%)

#### 1-2.上記で適切でなかった、改善を要する、あるいは不足していると感じた項目について、具体的にご指摘ください。

○ 昨年度と比較して質問項目数が減ったので、学生の立場からすると答えやすくなったのではないかと思います。それでも、これだけの項目数に答えるだけの時間をしっかり取ることは難しいです。

○ 質問項目が大変多く、学生が最後まで考えて答えていないのではと思えるものが多かった。

○ 短大生の中には、理解できないと思われる、あるいは正確に答えることができないと思われる質問項目があるのではないかと。

○ 回答するだけでも長時間（30分ほど）を要するので、どの質問項目も、100人の学生が

読んで、100人が質問内容を即座に理解し、回答できるような内容としていただきたい。

- 項目の内容については、俄かに判断できないが、調査項目が多いために、学生に回答させるのに時間がかかったので、その点で、何らかの改善があればよいと考える。
- 「一週間のなかでどれくらいの時間を費やしているか」という項目の選択肢に変更があったため、これまでの結果との比較がしにくくなり、適切ではないと感じた。
- 本学独自で年に2回「学生生活動向調査」を行っており、短大生調査項目の中には本学で設定していない項目もあるので、参考になった。また、今後の調査項目の改善・検討にも役立つと思われる。さらに、同じような項目も参考にすることで、学生の実態をより正確に把握することにもつながると考えられる。

2-1.2015年2月にお届けした貴短期大学の個別集計結果データの活用状況について、お聞かせください。

- ① すでに活用している .....9校 (22.0%)
- ② まだ活用していないが、活用が決まっている .....8校 (19.5%)
- ③ まだ活用していないが、活用の予定がある .....11校 (26.8%)
- ④ まだ活用していないが、活用を検討している .....13校 (31.7%)
- ⑤ 特に活用の予定がない .....0校 ( 0%)

2-2.上記での活用の具体例について、お聞かせください。

(1.自己点検)

- 自己点検・評価の資料として活用。
- 自己点検・自己評価の資料として活用する予定
- 本学、自己点検関係資料として
- 自己点検・評価活動に活用する。自己点検・評価報告書に集計結果を踏まえて記述する。
- 本学の平成27年度「自己点検評価報告書」に調査結果を記述する予定です。
- 第三者評価の報告書作成
- 本学の共有資料として全教職員が閲覧できるようにし、本学の学生理解や全国の学生との比較、自己点検評価などに活用していく予定です。

(2.委員会や研修会)

- 委員会での情報共有
- 3月末に実施しているFD研修会で、全教員及び参加可能な事務職員に報告を行った。集計データをもとに質問項目ごとに全データ結果(全国)、本学結果、学年ごとの結果を比較し検討し報告した。それをもとに、本学の課題について、ディスカッションを行った。
- 学修時間(全国平均との比較、経年変化)のデータを、全学のFD・SD研修会で活用している。
- 学生の満足度等も含め、より充実した教育活動への資料として活用すべく、自己点検評価運営委員会をはじめとする各会議で検討を行う予定です。尚、全教職員が閲覧できるようデータを共有しております。

- 教授会、学長講話、外郭団体会議等で本学の現状を話す時に資料として活用している。

### (3.比較分析)

- 全国と本学、本学のこれまでと今回の比較を行いました。
- 全国と本学とを比較し、本学の特長を抽出
- 他の短大生と本学学生との違いを比較し、強み弱みを分析の上、今後のカリキュラムに活かす。
- 本学と全国平均を比較した資料を作成し、全教員に配布して本学の強み、弱みを把握の上、学生募集、学生支援、学習成果の向上につなげようとしている。
- 本学の学生の経年の変化を見ての傾向をつかむ、入試種別との関係もわかれば調べる。
- 本学と全体の集計データを項目別にグラフ化し、教職員に配布し、自己点検・評価委員会で、本学の強みを分析している。
- 全体集計との比較により、本学学生の傾向を分析する予定。
- 本学では、12月～1月に2年生を対象にした「学生生活調査」を実施している。この1年生対象の「短大生調査」を実施することで、2年間の学生の動向が見えて大変有効である。集計結果は、必要性に合わせ各学科・各課が閲覧できるよう3月にコピーしたものを配布している。また、自己点検・評価委員会にて全体集計結果・中間報告書をもとに本学の傾向を分析し今後の学生教育や広報活動等に生かす予定である。

### (4.学生支援)

- 学生サービスや授業や入試の改善の参考にしたい。
- 学生生活の充実度や学習時間のデータを学生指導に活かしていきたいと考えています。
- 改善内容を考えていくときの参考とする。授業づくりにあたっての参考とする。
- 設備の不満について、学内の調査と合わせて改善に努めたい。
- 本学では学科として学生生活全般については「学生生活動向調査」、キャリアセンターとしてキャリア・進路関係について「進路登録票」、入試広報として入学動機や学校・学科選択理由などについて「新入生アンケート」を行っている。しかしながら、それぞれの連携があまり行われていないので、今後の検討課題のデータとして活用したいと考える。また、学習成果の査定も行わなければならないので同様に参考にしたい。
- 入学者受け入れの方針の見直しや今後の学生募集政策、在学生に対する教育の質の保証の確認や学生サービス向上に活用していきたい。
- 専任教員に配布を予定しており、これからの教育的指導及び学生指導等の参考資料として活用していく方向である。

### (5.学生募集)

- 本学への進学理由の分析を学生募集に活用
- 次年度の学生対応に生かしています。学生募集にも活用しています。(本学の特色など)
- 入試の際の志望校順位、高校教員・保護者の関わりなどについての情報源として活用する。

(6.その他)

- 全教職員での情報共有
- 1.入試広報の分野：短大 の進学を決めた理由、2.学生サポート：施設やサービスの満足度、3.キャリアサポート：将来の職業やキャリア
- 今後充分検討し本学の運営に活かしていきたい。

2-3.次回から学科別のデータ集計が可能となる方法の検討をしていますが、どのように思われますか。

- ① できることが必要である .....15校 (37.5%)
- ② できたほうが良い .....20校 (52.5%)
- ③ できなくても良い .....2校 ( 5.0%)
- ④ できる必要はない .....2校 ( 5.0%)
- ⑤ 無記入 .....1校 ( - )

2-4.その他、データについて気が付かれた点やご要望等がありましたらお聞かせください。

(1.気づいた点)

- 集計データをいくつかの角度から分析できることが望ましいので、必要であると考えます。
- 本学は単科の短期大学であるが、学科別に細かくデータがほしい場合がある為、あってもよいと思う。
- 学科別のデータがあると、同じ学科を持つ他学での学生の状況と比較も可能なので、大変参考になると思う。
- 設問〔24-4〕で、居心地のよさを問うていますが、理由が知りたいと思います。うまく問う方法があればと思います。
- 設問[11]の1週間の活動時間について、授業のある平日と授業のない土日では勉強時間は異なるので平均して回答するよりは、平日と土日で分けた方がデータが明確になるのではないかと思います。土日はむしろけじめをつけて遊ぶ時間として必要な時間とも考えます。

(2.要望)

- 全体集計結果と同じ内容のグラフを個別集計結果にも掲載してほしい。
- エリア別、若しくは、首都圏と地方別での結果集計を希望。
- 学科別のデータだけでなく、学年別の集計データがあると、さらに活用の幅が広がるのではないかと思います。
- 学科やコースによって、実習や演習の時間数が大きく異なります。そこで、学生が主体的に学ぶ仕組みがどのように工夫され、学びへの達成感にどの程度繋がっているか、教育課程別に検証できると有難いです。
- 学科別だけでなく、学年、性別も可能になると助かります。

(3.その他)

- 単一学科なので、学科別というのは全く意味がありません。専攻別であれば歓迎です。
- 本学は単科ですので、協会の方式に添って実施させていただきます。

3-1.今回（2015年4月に）お届けした『全体集計結果・中間報告書』について、お聞かせください。

- ① すでに活用した.....4校（9.8%）
- ② 活用の予定がある.....17校（41.5%）
- ③ まだ活用していないが、参考になった.....20校（48.8%）
- ④ 特に参考にならなかった.....0校（0%）

3-2.上記の活用方法、参考になった点等について、お聞かせください。

(1.自己点検)

- 第三者評価の報告書作成
- 全国短大と比較できるので、自己点検・評価活動に利用したい。
- 自己点検・評価の資料として活用。
- 学生の実態を把握するのに有力な資料となっている。学生支援・教育方法の改善・FDにもつなげていきたい。自己点検・評価報告書の記述にも取り込んでPDCAサイクルに活用していきたい。

(2.委員会や研修会)

- 自己点検・評価委員会の主導のもとに、各学科が科会を開き、中間報告書を分析している。そして問題点と改善案を検討して、教職員全員が参加する「全学研修会」で発表し、共通認識を持つようにしている。
- FD委員会『全国集計結果・中間報告書』について話し合い、学長、学科長、各委員会の委員長に知らせた。

(3.比較分析)

- 全体と本学を比較して本学の実態を知ることができた。
- 学習時間などで全体傾向との差異がある。
- 本学の学生満足度調査と合わせて分析を計画している。
- 全体集計とは別に本学学生の状況、その意識が読み取れる。
- 本学の教育に関する満足度。入学してからの能力や知識の変化の程度。
- 授業評価も本学は実施しているが、それとの関連性を見ながら教育の満足度がはかれるのは参考になる。力を入れている要素が結果として成果につながっているものとなかなか成果につながらないものがある。それも今後の検討課題である。カリキュラムの見直しなどで大変参考になるデータである。
- 全体集計結果と比較する形で本学の集計を行っております。
- 全体のデータと本校のデータを比較すると、ほぼ同様の傾向を示す点と改善すべき点が

明らかになった。

- 個別集計との比較により、本学学生の傾向を分析する予定。
- 本学もアンケートを取っているが、他校の状況も分かる為、参考になった。

#### (4.その他)

- 短大生に共通している経済的状況が理解でき、支援体制を親密にする必要があると確認できました。
- 短大の全体像が見えて大変参考になりました。
- 学科別ではないが、現在の短大生全体の考えや感じ方、状況などが分かりとても参考になった。
- 全体集計結果・中間報告の活用を全学的に検討していく必要があると感じている。

4-1.本協会のウェブサイトにてこれまでの短大生調査を基にした学術研究の成果が掲載されていますが、ご存知ですか。

- ① 知っており、内容を活用したことがある..... 2校 ( 4.9%)
- ② 知っており、参照したことがある..... 13校 (31.7%)
- ③ 知ってはいるが、参照したことがない ..... 16校 (39.0%)
- ④ 存在を知らなかった ..... 10校 (24.4%)

4-2.本短大生調査へ過去にもご参加いただいている場合、経年データの貴学でのご活用実態等について、お聞かせください。

#### (1.活用例)

- **FD・SD** 研修（教職員セミナー）で過去 2 ヶ年の状況を共有し、自己点検評価の資料として活用しております。
- 本学教職員対象の研修会にて、経年データを全国の短大との比較をもとに報告しました。
- 高校教員対象の大学説明会や本学の保護者対象の懇談会等で本学の実態を数値で説明している。
- 傾向をとらえるための一資料として参考にしている。
- 本学の学生を対象に本調査を参考に独自のアンケート調査を実施し、本学生の特質を探った。新しいカリキュラムを構築するにあたっては学生調査を大いに参考にさせてもらった。学費の支払いなどは個人には質問しにくい事柄であり、現代の経済状態の厳しさもよくわかり、学生への負担を減らす対策も取る必要を感じ、資格取得の奨学金制度も設定した。

#### (2.今後活用予定)

- まだ十分な活用はしていないが、今後 **IR** 活動に活用したいと考えている。
- 経年での活用は今年度行う予定。
- 経年 **DATA** を活用できることを知りませんでした。ぜひ活用したいと存じます。
- これから経年データの比較等実施して参りたいと存じます。

### (3.要望)

- 経費的に難しいと思うが、全体的な結果と個々の短大との比較が容易に出来るような報告書があれば良い（データだけだと見づらい面がある）。

### (4.活用なし)

- 毎年実施していませんので比較することができませんでした。
- 担当者の交代により、過去の活用について把握しておらず、申し訳ありません。
- 過去の状況は分からないのでお答えできない。
- 本学では、過去にも参加させて頂いているが、本学独自の調査もあり、担当者も変わってしまったことなどから、経年の貴重なデータの活用には至っていないので、今後の検討課題と考えられる。

## 5.短大生調査へのご感想、ご要望等ございましたらお聞かせください。

### (1.感想)

- 自己点検・評価委員会では、今回の調査から質問項目が減ったことにより学生の回答時間も減りよかったという意見であった。
- 今年度初めて参加させていただきました。学生がどのように本学での学修について考えているかを把握でき、また、全国平均との比較ができたことは、今後の本学での取り組みを考えるうえで、大いに役立つと考える。また、取り組むべき課題が見えてきた。学科別の集計をご検討されているということなので、そうなればさらに参考になると思う。本学でも継続して参加して、経年変化を追って、活用していきたいと考えている。
- 昨年（2013年）は1年生だけの調査だったが、今回（2014年）は1,2年実施できたので良かった。調査結果も1,2年別のデータがあると授業の満足度等その変化が見られて良いと思う。
- 全国の短大生調査の集計が分かる為、非常に参考になった。

### (2.要望)

- 他大との比較だけでなく、学科ごとの比較、学年の比較なども積極的に行っていきたいと考えております。前年との比較も行いたいため項目の変更を最小にさせていただければ幸いです。（しかし、項目の洗練による学生の負担軽減も重要課題だと思いますので、難しいところかと存じます。）
- 1週間の中で費やす時間の項目にスマホの利用時間を入れていただきたいと思います。
- 社会人入学者の志望理由、満足度、要望等について質問項目があると、社会人の学び直しを含めた、今後の入試広報活動に役立つと思う。
- 本調査の参加数が少ないのでもう少し増やすための対策を講じていただきたい。当大学では業者による大学生基礎力調査を本年度から実施しているが、設問項目の重複が有り今後継続して実施できるかどうか決めかねている。
- 経年変化を追えることは大変重要なことであり、今後とも続けてほしい。多くの短大が参加することにより、今以上の全体像がつかめると考えるので、できるだけ多くの短大

の参加を希望する。

- 参加する短大が増えることを期待します。(全国的な傾向を見る上で)
- 本調査の参加短大数及び参加人数をもっと増やす工夫をお願いいたします。
- もし学科別のができたらすばらしいと思います。参加校が非常に少ないのが短大の将来を考える上で、非常に気になりました。
- 本年度、初参加であり、全ての項目にわたり、非常に有用な調査であり、特に、全国的な状況の中での本学の状況が明確に確認でき、大学運営に大いに役立てたいと思っています。従って、集計において全国的な状況と本学の状況が対比可能になる様にして頂くと、より活用範囲が広がるものと思います。ご検討お願いします。
- 調査に回答している学生の所属学科により、回答が大きく異なることも考えられるので、大まかな学科・専攻の分野別の回答がわかれば、よりありがたいと考える。
- クロス集計データが多く、大変参考になりますが、一般的に活用が見込まれる項目については、グラフを掲載していただきたい。
- 本学の場合、学科によってかなり特性が違うので(どこでも、そうだと思うが)、学科別の集計が可能にようにしていただくことを要望する。
- 今回の調査は、本学と短期大学全体との比較もでき、分析し今後の本学の在り方や方針を決める上で大変参考になる。しかし、調査結果が膨大な上、分析し傾向を知るためには、調査結果を見極め、適切な助言が必要となるが、本学では人的な余裕がなく、結果を有効活用できないのが現状である。そこで、調査結果の統計だけでなく、短大毎の大まかな傾向だけでも、箇条書きにさせていただき、また、本学における注視して確認すべき質問項目などで教えていただけるとありがたい。
- 調査項目ごとに全体集計結果と個別集計結果を比較したデータがあると、本学の今後の教育改革により役立てることができるようになると思いますのでご検討いただければと思います。
- これだけの項目数を答える時間を確保することが難しいので、調査期間がもう少し長くなれば良いかと思います。短大生調査を実施して、どのように活用し改善していったのか、その具体的な事例を紹介していただければと思います。

### (3.その他)

- [11]の1解説に関して、「コマ」について、学生は理解可能でしょうか。
- これから学生の調査結果を分析していこうと思います。今後の指導に役立てたいと思います。
- 本学の経年データによる比較・検討だけでなく、短大生全体との比較もできるので、大変貴重なデータであると考えます。しかしながら、担当者が変わったり、同様の調査も行ったりしていることからデータの活用には至っていないのが現状である。今後は、本学独自の複数のアンケートとの連携だけでなく、この短大生調査も参考に検討していきたいと考えている。

【注】 ご意見等の掲載に当たり、設問文が略されている場合には便宜のために補って全文とし、固有名詞が記載されている場合には機関名等が特定できないように固有名詞を削除

するなど、一部修正させていただきました。

---

(意見のまとめ)

この集計結果によれば、今回の短大生調査は、調査項目の学生への質問としての適切性について、「適切であった」が約 37%、「大旨適切であった」が約 63%で、合わせて 100% となっており高い評価を得ている。ただし、「大旨適切であった」とする場合の具体的な問題の指摘として、「質問項目が多い」、「質問内容が短大生には理解されにくい」などの意見が寄せられている。

個別集計結果データについては、「すでに活用している」は 22%、「まだ活用していないが、活用が決まっている」は約 20%、「まだ活用していないが、活用の予定がある」は約 27%を占めており、大旨活用されていると思われる。

また、短期大学各自の集計データ、及び全体集計結果・中間報告書の活用については、自己点検・評価報告書の作成、FD 研修会や会議等での情報共有、経年比較や他大学との比較、教育改善、経済支援体制の見直しなど様々な活用が行われている。また、短期大学独自で実施している調査と併せて分析をしているなど、各短期大学の置かれた状況によってその活用の仕方は様々である。

学科別データ集計の必要性に関しては、「できることが必要である」は約 38%、「できたほうが良い」は約 53%、と高い希望があった。

本協会ウェブサイトについては、「知っており、内容を活用したことがある」は約 5%、「知っており、参照したことがある」は約 32%に対して、「知ってはいるが、参照したことがない」は 39%、「存在を知らなかった」は約 24%という結果であった。

当該調査を複数年実施している短期大学の経年データの活用については、今後活用していく予定だという回答が多い一方、大学説明会や保護者会で活用、新しいカリキュラム構築にあたっての参考、資格取得の奨学金制度の設立等に活用している短期大学もあった。

短大生調査への感想、要望として、調査期間の延長、質問項目の追加（スマートフォンの利用時間や社会人学生への調査）、結果分析の追加（短期大学ごとの傾向や全体集計結果と同様のグラフを個別集計結果にも表示する）等の意見があった。また、「経年比較をするために調査項目の変更は最小限に留めた方が良い」という意見がある一方、「学生への負担軽減のための見直しも必要だ」という意見もあった。

上述のアンケート結果から、本短大生調査の今後の課題として、①学科別のデータ集計、②多くの短期大学に参加してもらおう方策の立案などが挙げられる。その他、参加校からの広範な要請に、より柔軟に対処できる短大生調査の工夫が求められている。

短大生調査 2014 (Tandaiseichosa2014) 参加校

(都道府県別・五十音順)

帯広大谷短期大学	釧路短期大学
函館大谷短期大学	函館短期大学
青森明の星短期大学	八戸学院短期大学
仙台青葉学院短期大学	東北生活文化大学短期大学部
いわき短期大学	桜の聖母短期大学
足利短期大学	宇都宮文星短期大学
國學院大學栃木短期大学	国際学院埼玉短期大学
埼玉医科大学短期大学	埼玉東萌短期大学
聖徳大学短期大学部	帝京大学短期大学
貞静学園短期大学	東京立正短期大学
目白大学短期大学部	金沢星稜大学女子短期大学部
仁愛女子短期大学	帝京学園短期大学
大垣女子短期大学	中部学院大学短期大学部
愛知大学短期大学部	愛知みずほ大学短期大学部
高田短期大学	大阪女学院短期大学
大阪成蹊短期大学	大阪夕陽丘学園短期大学
常盤会短期大学	近畿大学豊岡短期大学
神戸女子短期大学	神戸常盤大学短期大学部
夙川学院短期大学	聖和短期大学
奈良学園大学奈良文化女子短期大学部	山陽女子短期大学
香川短期大学	九州大谷短期大学
福岡医療短期大学	九州龍谷短期大学

調査研究委員会 委員名簿 (◎委員長、○副委員長)

(2014年度現在)

氏名	所属機関／職名
◎舘 昭	桜美林大学／教授
○清水 一彦	筑波大学／理事・副学長
安部 恵美子	長崎短期大学／学長
遠藤 静子	桜の聖母短期大学／学長
北村 久美子	学校法人北村学園 こだま幼稚園／園長
小林 雅之	東京大学／教授
田中 義郎	桜美林大学／総長補佐・総合研究機構長・教授
早田 幸政	中央大学／教授
溝上 智恵子	筑波大学／教授
藪 敏晴	佐賀女子短期大学／教授
山田 礼子	同志社大学／教育支援機構副機構長・ 学習支援・教育開発センター所長・社会学部教授
吉本 圭一	九州大学大学院／主幹教授

研究協力者・開発チーム (○担当委員)

(2014年度現在)

氏名	所属機関／職名
○山田 礼子	同志社大学／教育支援機構副機構長・ 学習支援・教育開発センター所長・社会学部教授
堺 完	日本私立学校振興・共済事業団 私学経営情報センター／専門員
山崎 慎一	桜美林大学 グローバル高等教育研究所／助手